

Build your own Ford **Mustang** 1967 SHELBY GT-500™

第10回配本

10



METAL BODYWORK
SCALE **1:8**





第10回配本 組立内容

STAGE 75	ディストリビューターとイグニッションコイルを作る	317
STAGE 76	エンジンルーム壁と右前部ショックアブソーバーを作る	321
STAGE 77	エンジンルーム後壁とブレーキシリンダー・ブースターを作る	325
STAGE 78	左前部ショックアブソーバーとスピーカーを作る	329
STAGE 79	バッテリーとストラットブレースを作る	333
STAGE 80	ウォッシャー液リザーバーと回路基板を作る	337
STAGE 81	左フロントフェンダーの確認	341
STAGE 82	シャーシフロントパネル部分と左フロントフェンダーを作る	345
STAGE 83	右フロントフェンダーを作る	349



ディストリビューターと イグニッションコイルを作る

このステージのパーツ

75-1ディストリビューター

75-2イグニッションコイル

75-3ケーシング下部

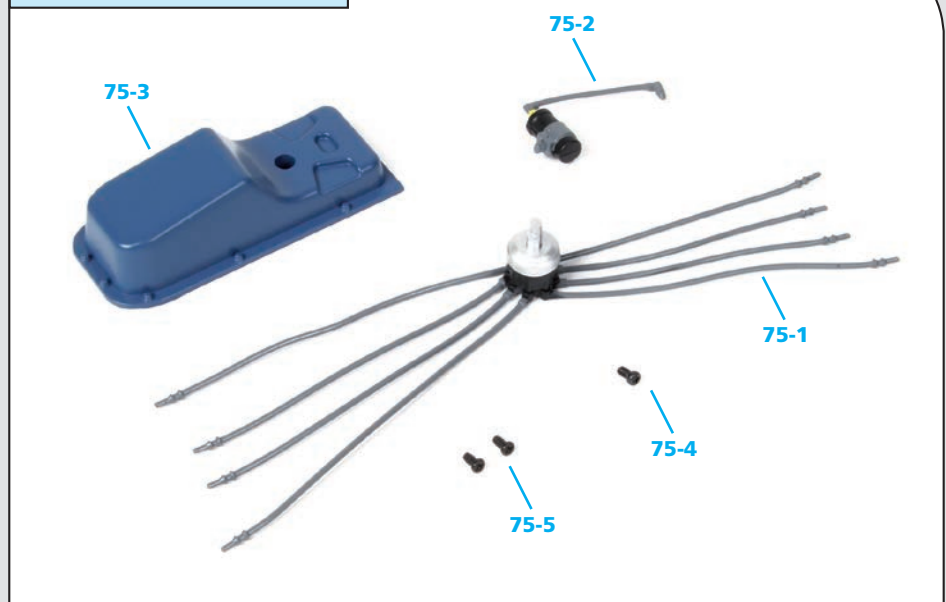
75-4ビス2.3 × 4mm(MD06) × 1

75-5ビス2.3 × 4mm(MP01) × 2

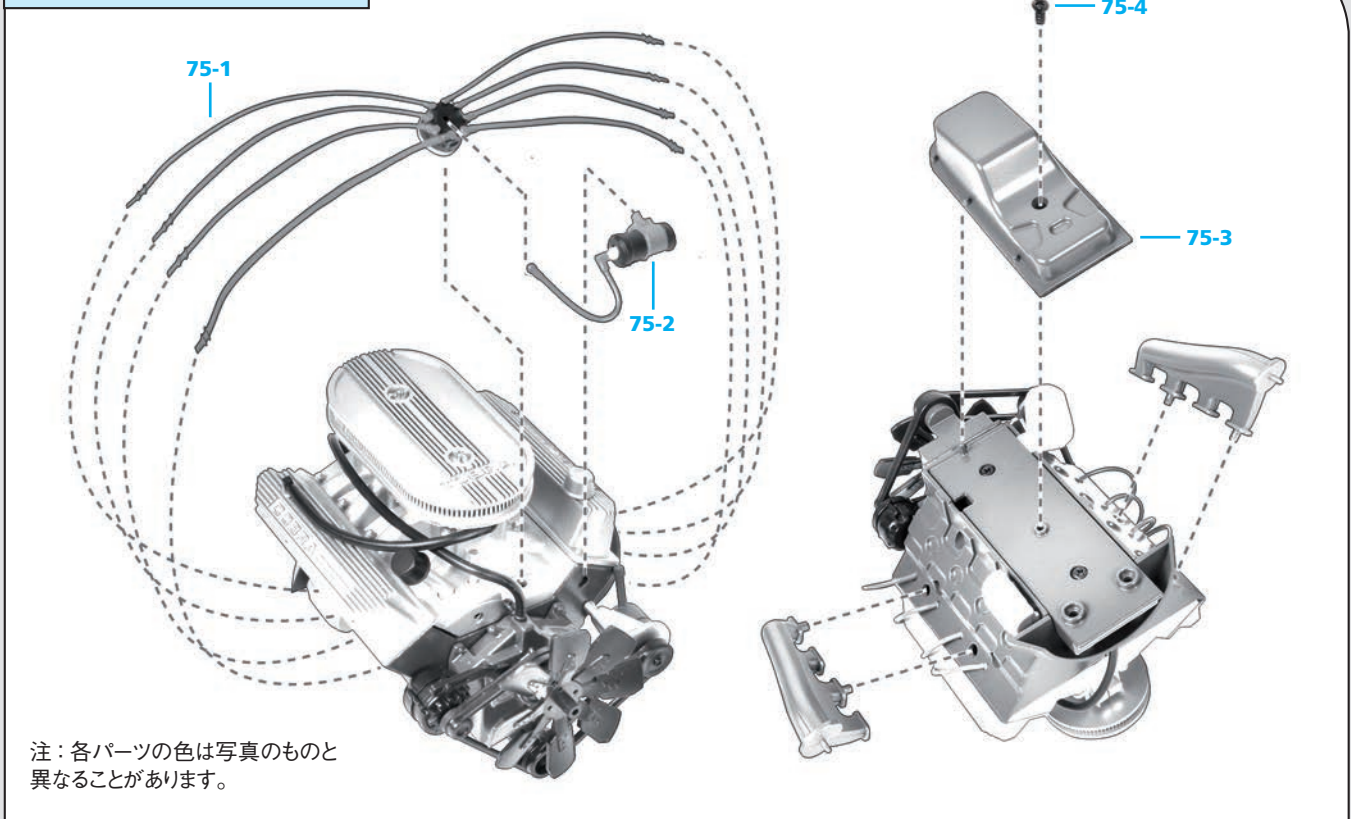
パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

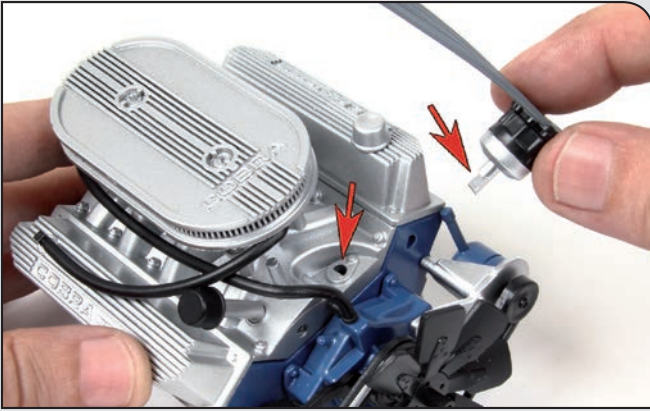
このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

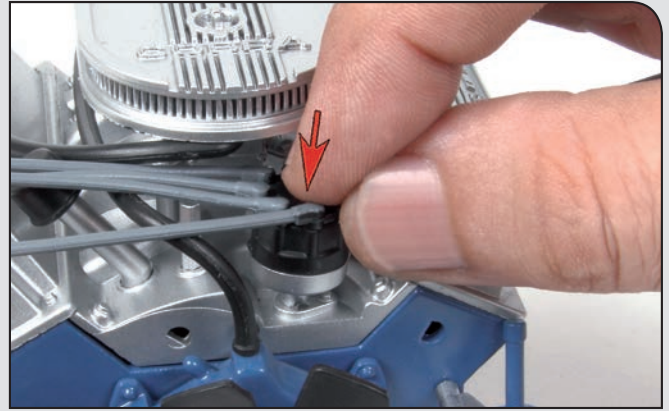


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



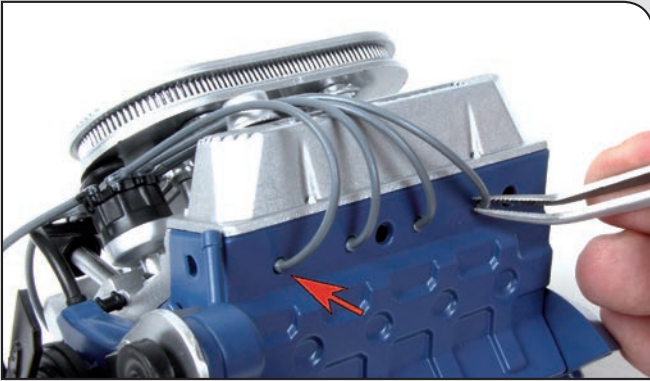
Step 75-A

エンジンアセンブリを取り出し、ディストリビューター(75-1)の下側にあるピンをエンジンに示されている穴の位置に合わせます。



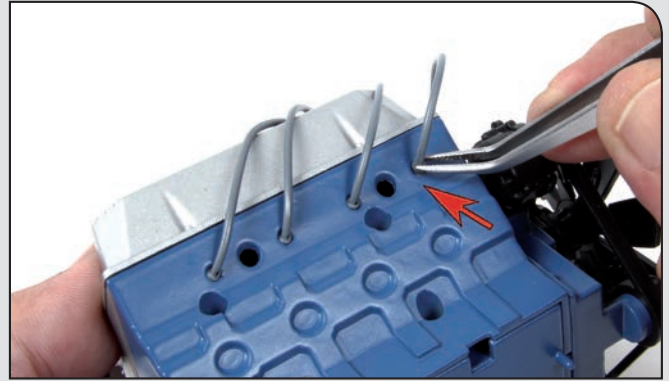
Step 75-B

ディストリビューターをエンジンに押し込みます。



Step 75-C

スパークプラグケーブルの端をシリンダーヘッド側面の穴に差し込みます。正面から始めます(矢印)。



Step 75-D

エンジンの右側も同様に取り付けます。正面から始めます(矢印)。

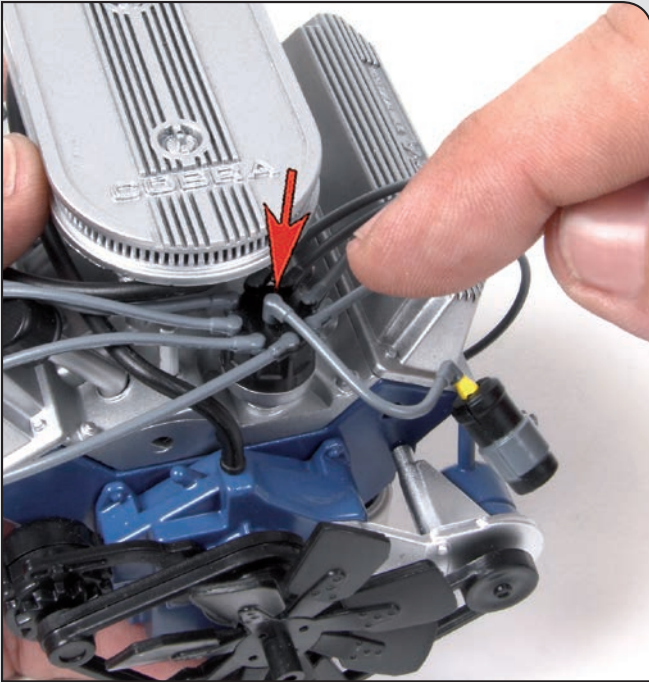
Step 75-E

イグニッションコイル(75-2)の突起部はシリンダーヘッド前面の矢印穴に収まり、コイルケーブルはディストリビューター上部の穴に収まります(左矢印)。



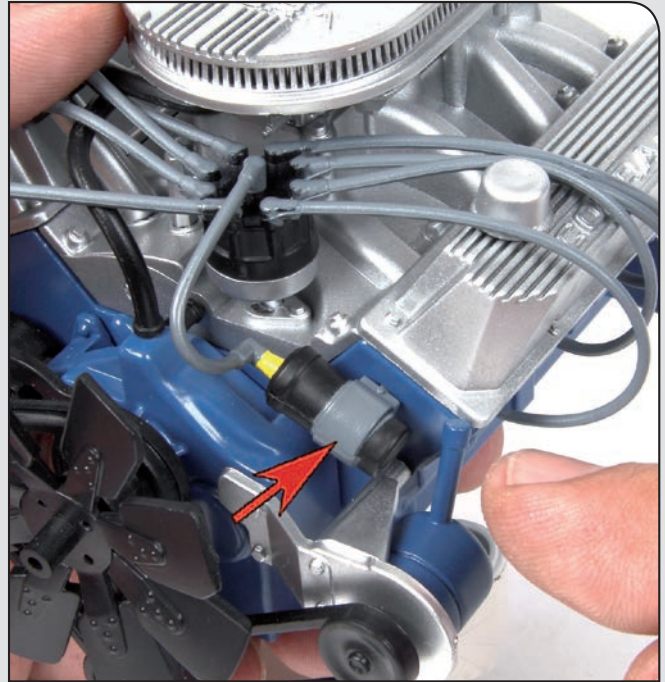
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。



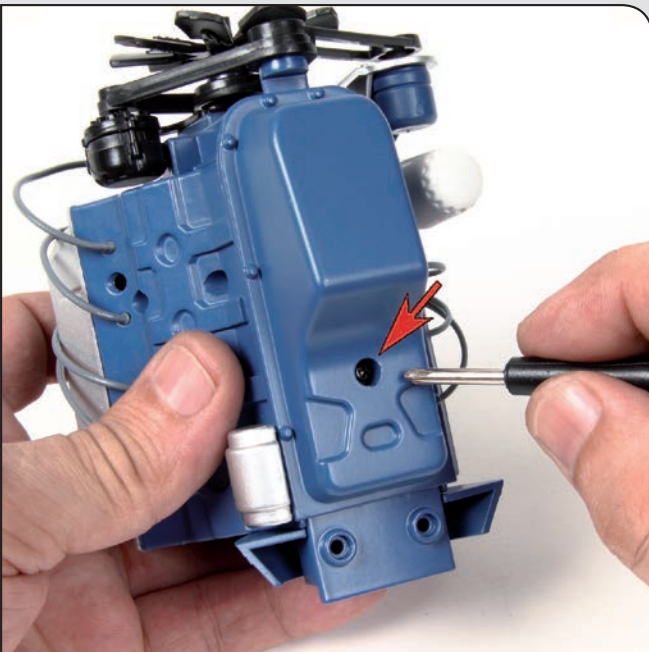
Step 75-F

コイルケーブルの端をディストリビューターの穴に差し込みます。



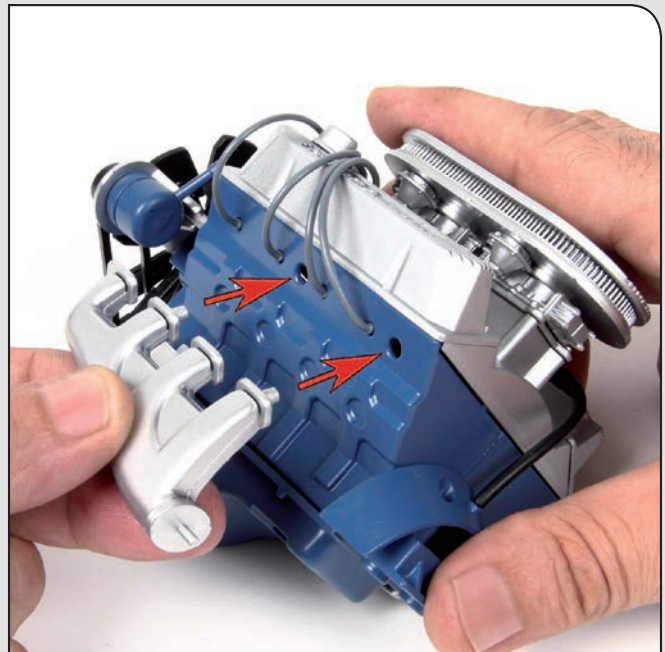
Step 75-G

コイルの突起部をシリンダーヘッドの穴に挿入します。



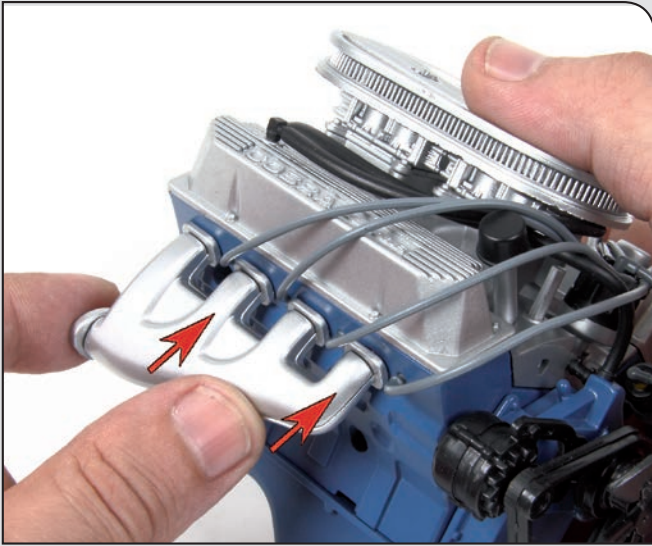
Step 75-H

次にエンジンを裏返し、写真のように下部ケーシング(75-3)をエンジンの底部に取り付けます。MD06のビス(75-4)で固定します。



Step 75-I

左側のエキゾーストマニホールド(73-5)を取り出し、2つの突起部をエンジンの左側にある穴に差し込みます。



Step 75-J

右側のエキゾーストマニホールド(72-6)を取り出し、左側と同様にエンジンの右側に取り付けます。



Step 75-K

組み立てると写真のようになります。
MP01ビス(75-5)は後のステージで使用しますので、無くさないように保管してください。

STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



エンジンルーム壁と 右前部ショックアブソーバーを作る

このステージのパーツ

76-1 フロント右ピストン

76-2 ピストンピン

76-3 フロント右側パネル

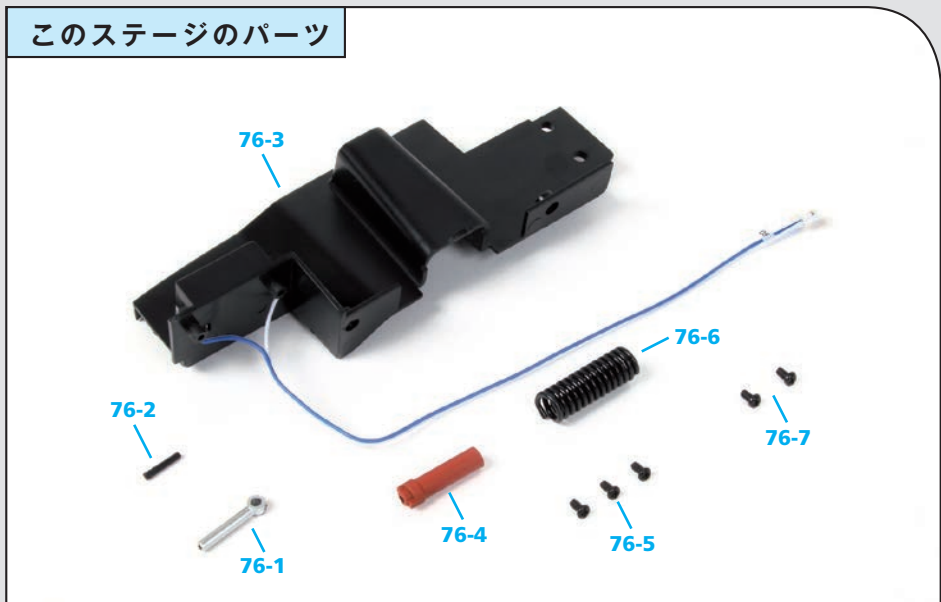
76-4 フロント右ショックボディ

76-5 ビス2.3 × 4mm(MP01) × 3

76-6 フロントショックアブソーバースプリング

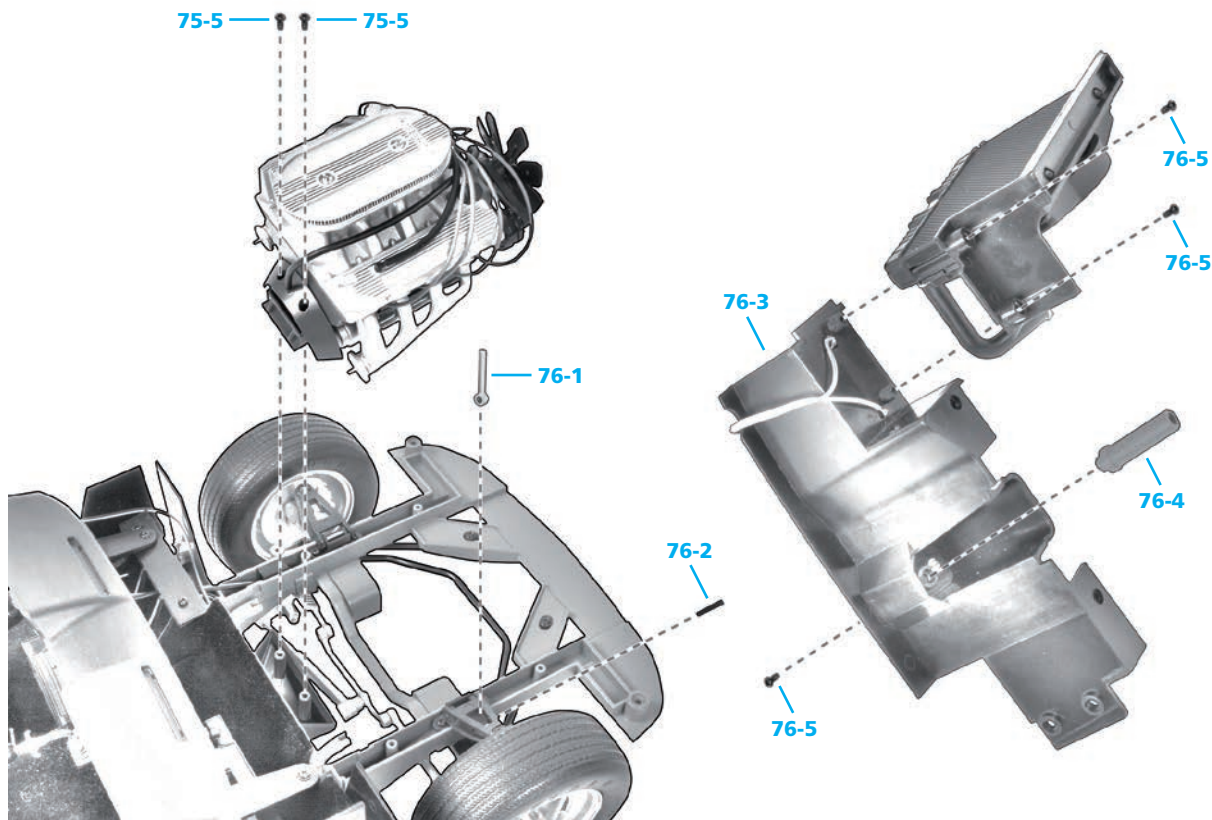
76-7 ビス2.3 × 4mm(MD06) × 2

このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。





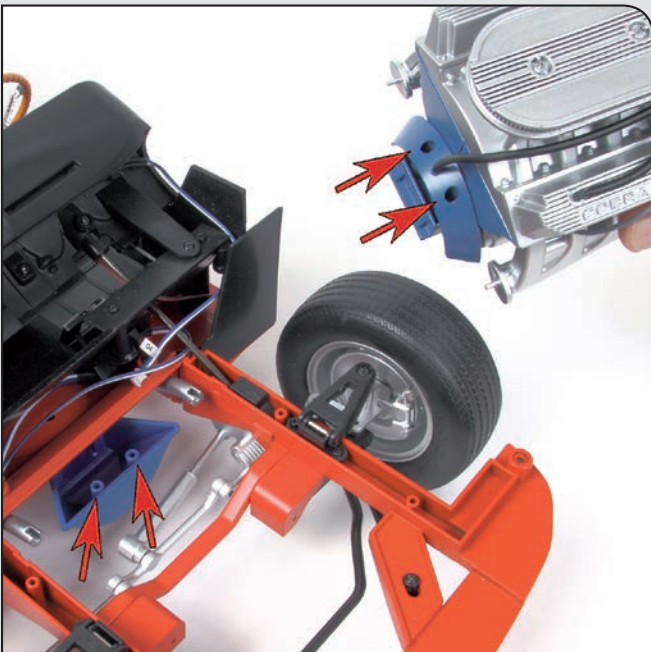
Step 76-A

フロント右ピストン(76-1)の端の穴をサスペンションアームの穴に合わせます。次に、ピストンピン(76-2)を穴に差し込みます。



Step 76-B

ペンチを使ってピンをアームに完全に差し込みます。



Step 76-C

エンジンをシャーシに取り付けます。ギアボックスの2組の穴を確認します(矢印)。



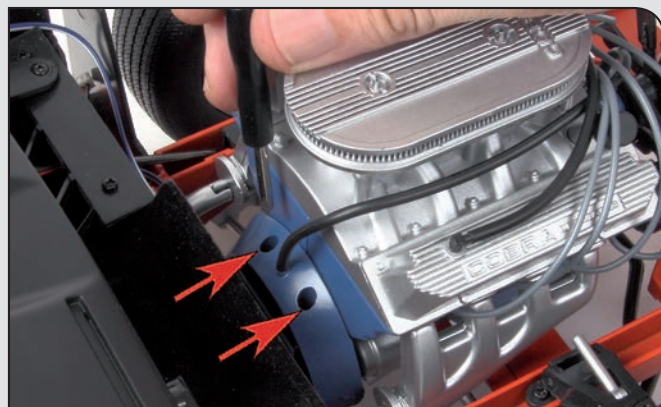
Step 76-D

エンジンを所定の位置に降ろし、ギアボックスの2つのパーツをかみ合わせます。



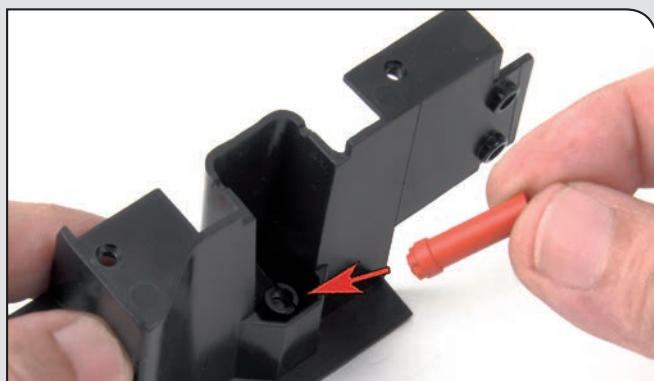
Step 76-E

エンジンの両側のマニホールドの端に排気管(エキゾーストパイプ)をはめ込みます。



Step 76-F

2本のMP01ビス(75-5)でギアボックス上部の穴を締めます。



Step 76-G

フロント右ショックボディ(76-4)をフロント右側パネル(76-3)に挿入します。

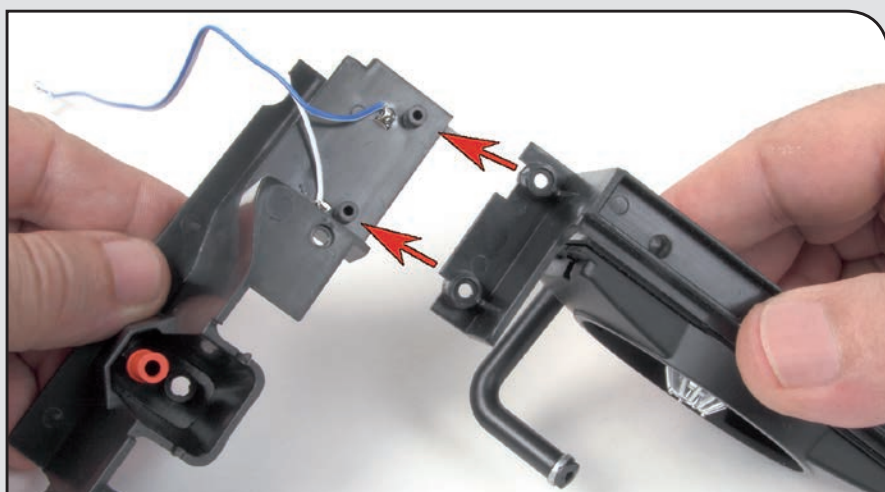


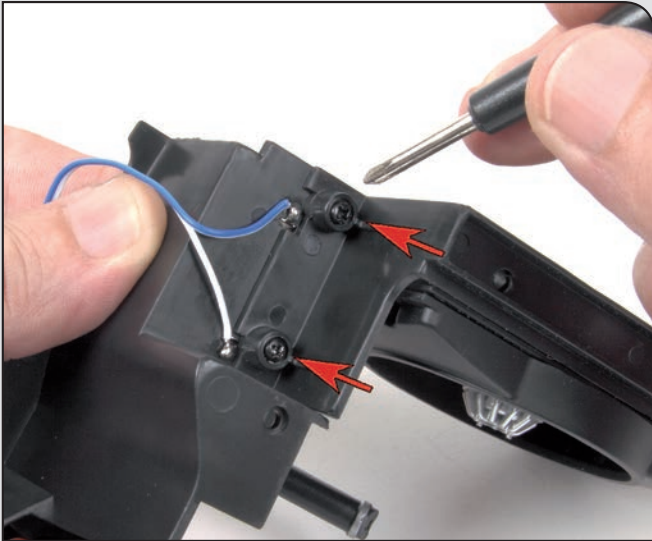
Step 76-H

パネルを裏返し、MP01のビス(76-5)でショックボディを固定します。

Step 76-I

ラジエーターを取り出します。
片手でパネルを持ち、写真のようにラジエーターを向け、パネルの対応する突起部に穴を合わせます(矢印)。





Step 76-J

2本の部品を2本のMP01ビス(76-5)で固定します。



Step 76-K

組み立て後の外観です。フロントショックアブソーバースプリング(76-6)とMD06のビス(76-7)は次のステージで使用するので、無くさないように保管してください。

STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。

パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。



エンジンルーム後壁と ブレーキシリンダー・ブースターを作る

このステージのパーツ

- 77-1ブレーキマスターシリンダー
- 77-2ブレーキブースター
- 77-3エンジン後部バルクヘッド
- 77-4ビス2.3×4mm(MP01)×1
- 77-5ビス2.3×3mm(MP03)×2

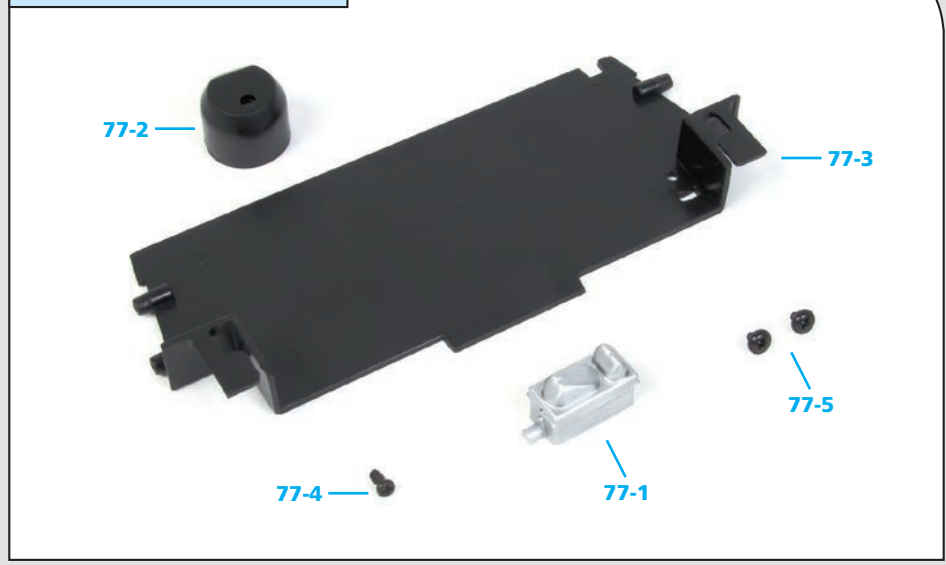
パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

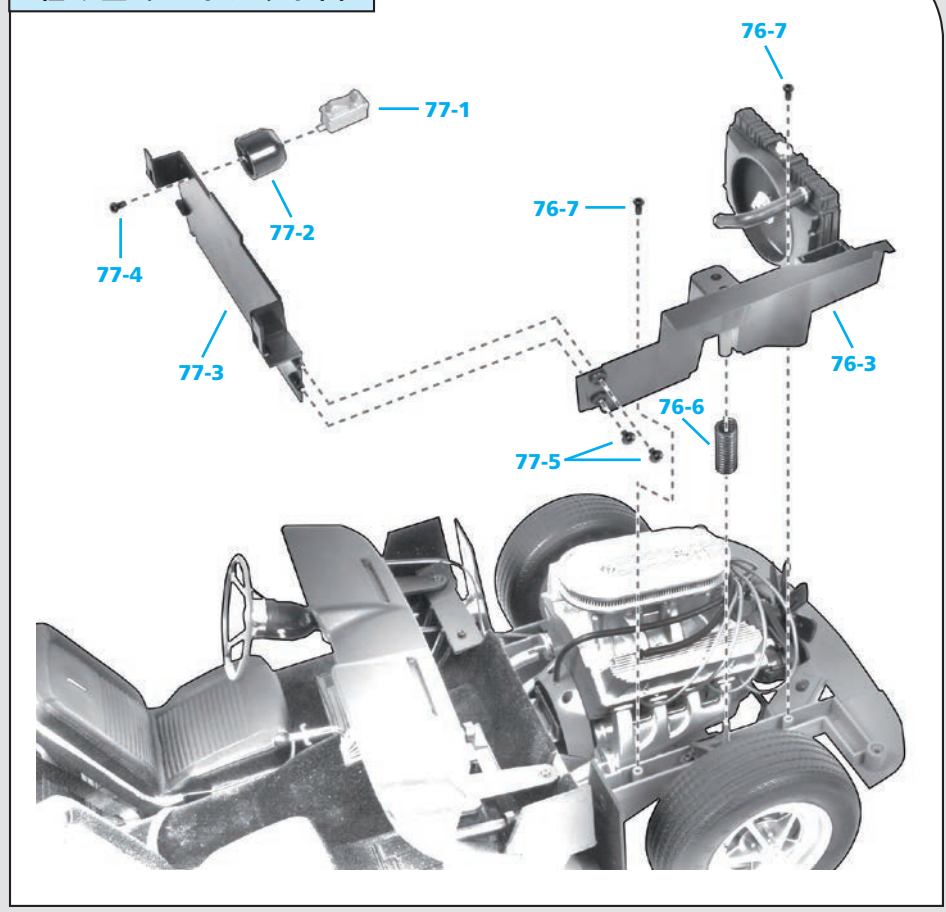
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

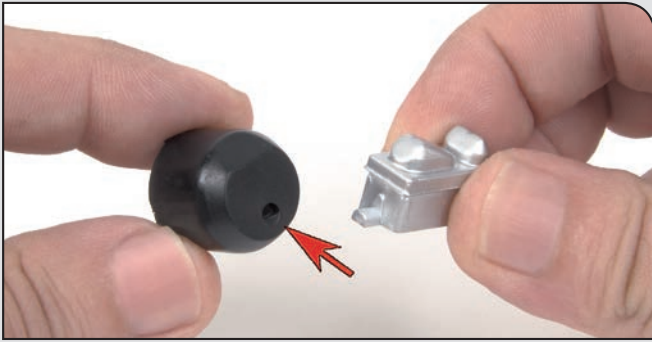
このステージのパーツ



組み立てレイアウト図



注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 77-A

写真のようにブレーキマスターシリンダー(77-1)とブレーキブースター(77-2)を持ってください。2つのパーツは1つの位置でしか組み合わせることができません。



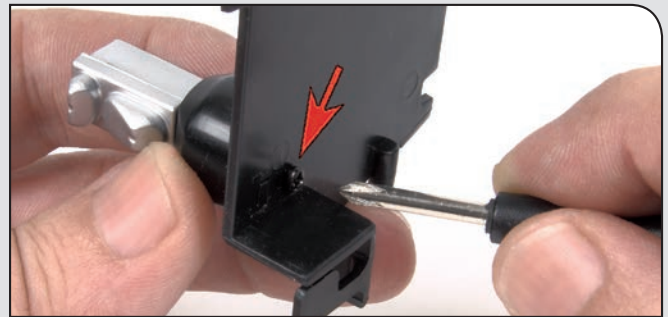
Step 77-B

シリンダーの突起部をブースターの穴に押し込みます。



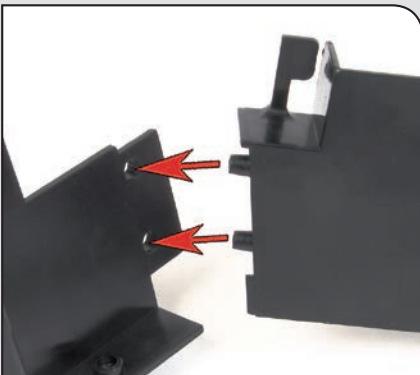
Step 77-C

次に、ブースター上部のタブをエンジン後部バルクヘッド(77-3)の穴に挿入します。



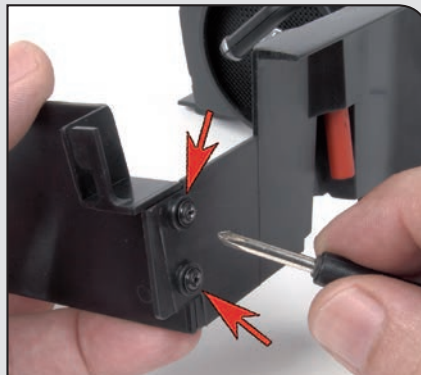
Step 77-D

バルクヘッドを裏返し、MP01のビス(77-4)でブースターを固定します。



Step 77-E

バルクヘッドの2本の突起部をフロント右側パネル(76-3)の対応する穴に挿入します。



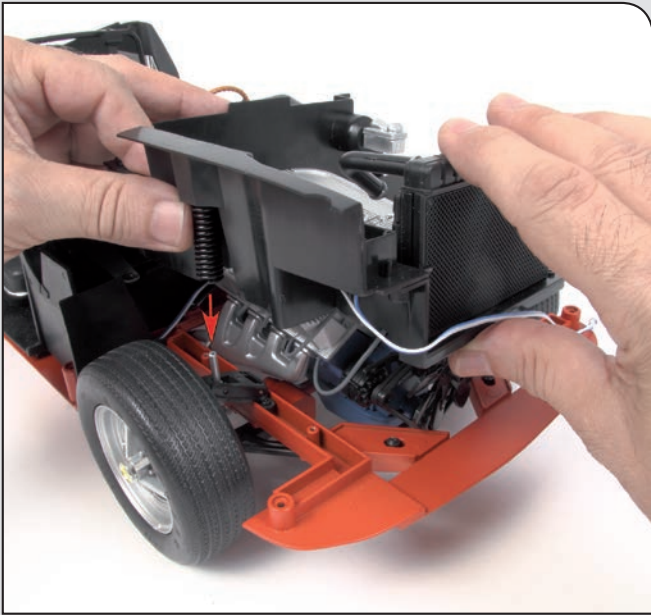
Step 77-F

2つのパーツをMP03のビス(77-5)で固定します。



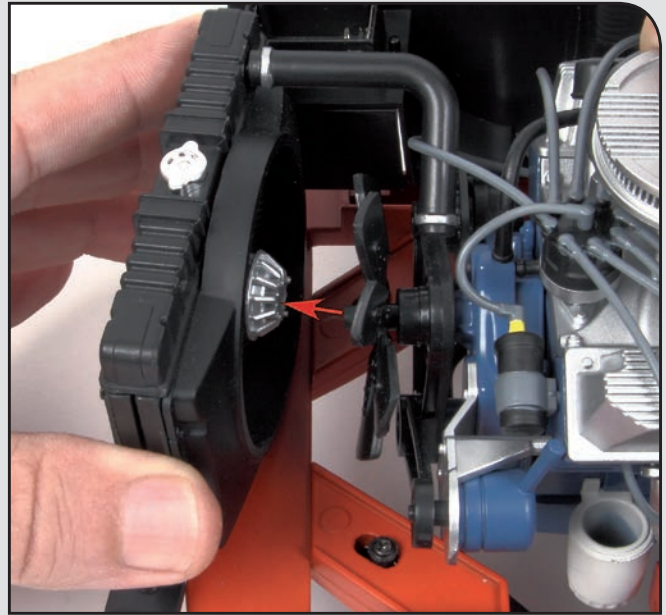
Step 77-G

フロントショックアブソーバースプリング(76-6)を取り出し、それをフロント右ショックボディ(76-4)に設置します。



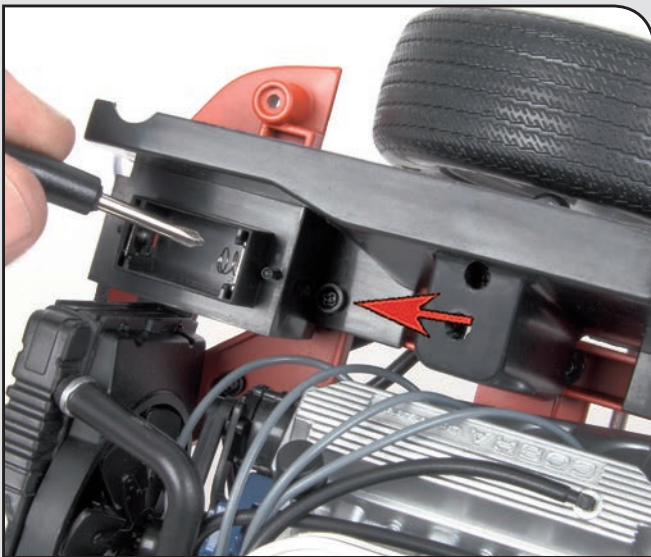
Step 77-H

スプリングを所定の位置に保持しながら、スプリングとラジエーター/パネル/バルクヘッドアセンブリをシャーシの上に下ろします。ショックピストン(矢印)がショックボディに入ります。



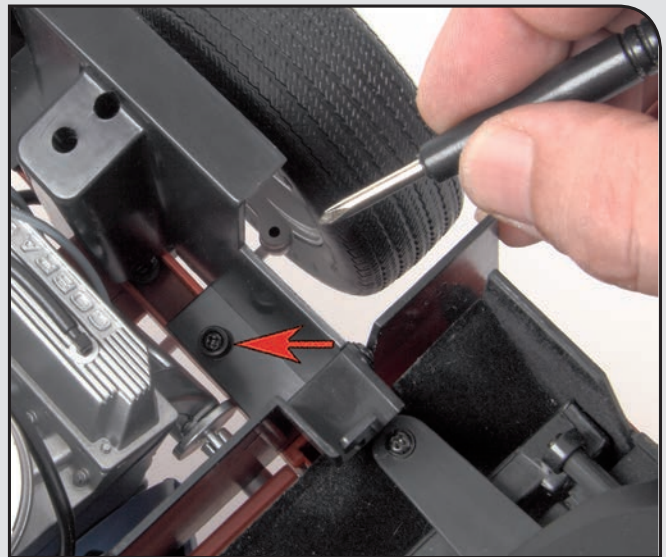
Step 77-I

ファンの軸をファンサポートの穴に挿入します。



Step 77-J

側面パネルをシャーシに固定します。パネルの指示された穴をMD06のビス(76-7)で締めます。作業を容易にするために、車の前部を少し上げるとよいでしょう。



Step 77-K

矢印で示された穴を別のMD06ビス(76-7)で締めて、パネルのもう一方の端をシャーシに固定します。



Step 77-L

組み立て後は写真のようになります。



STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。

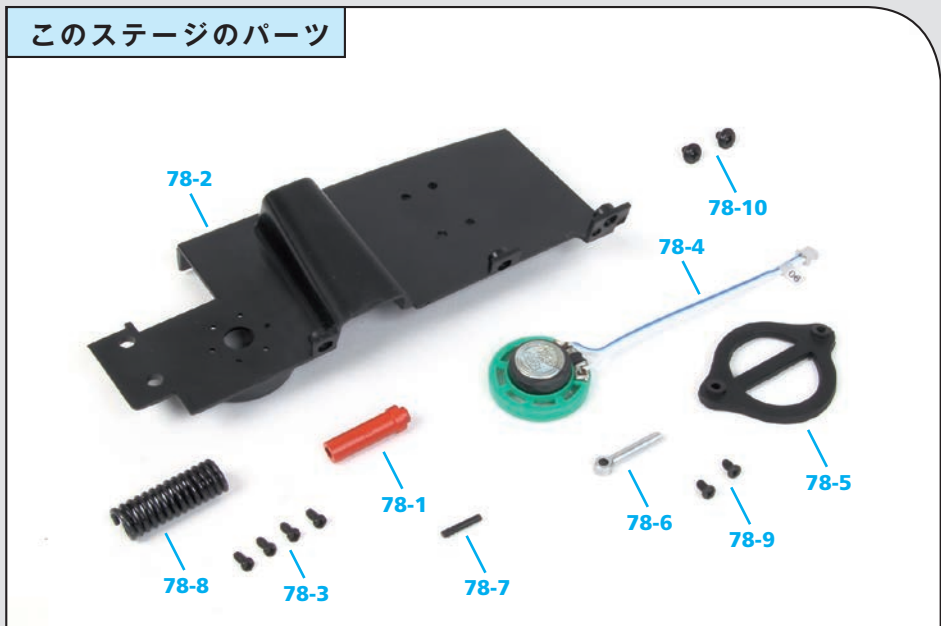


左前部ショックアブソーバーとスピーカーを作る

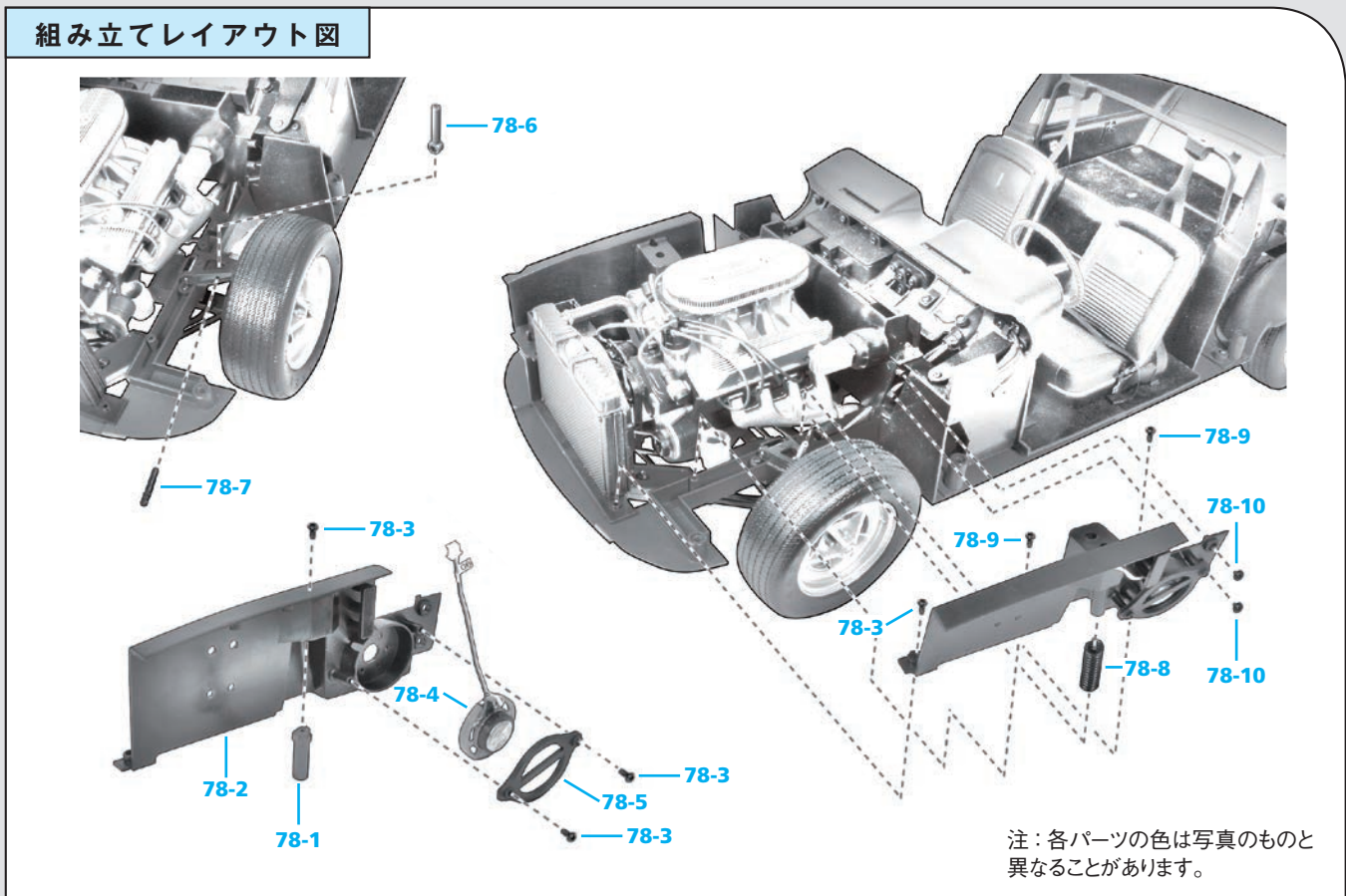
このステージのパーツ

- 78-1 フロント左ショックボディ
- 78-2 フロント左側パネル
- 78-3 ビス2.3×4mm (MP01)×4
- 78-4 スピーカー
- 78-5 スピーカーブレース
- 78-6 フロント左ショックピストン
- 78-7 ピストンピン
- 78-8 フロントショックアブソーバー
スプリング
- 78-9 ビス2.3×4mm (MD06)×2
- 78-10 ビス2.3×3mm (MP03)×2

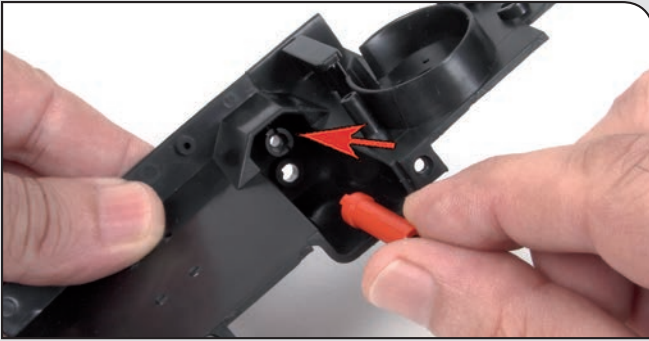
このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

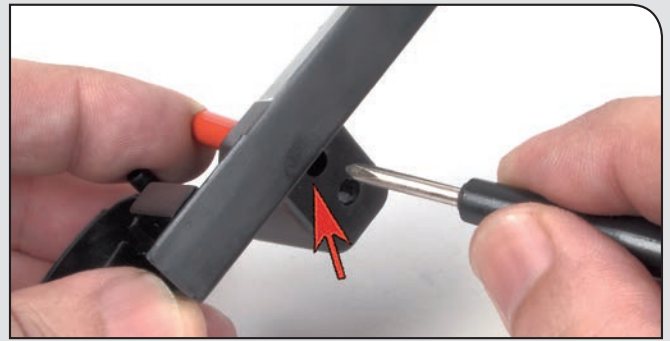


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 78-A

フロント左ショックボディ(78-1)をフロント左側パネル(78-2)に挿入します。

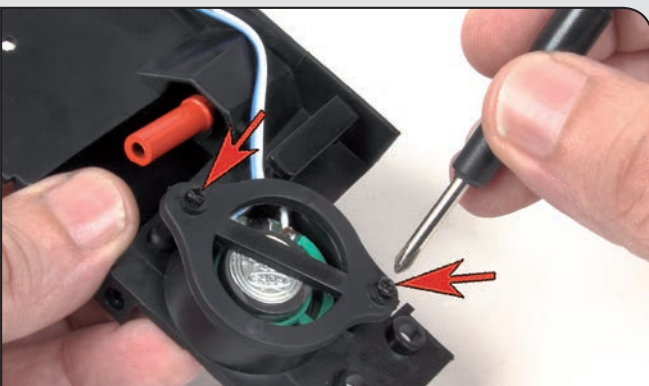
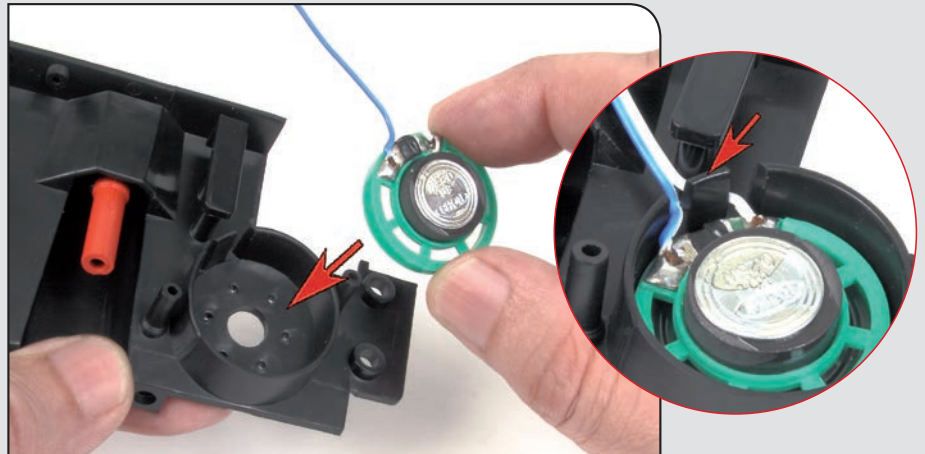


Step 78-B

パネルを裏返し、MP01のビス(78-3)でフロントショックボディを固定します。

Step 78-C

写真のように、スピーカー(78-4)をサイドパネルの円形の穴に入れ、ワイヤーを2つの隙間に挿入します(挿入写真)。



Step 78-D

スピーカーブレース(78-5)をスピーカーの上に合わせ、穴の位置を合わせて2本のMP01ビス(78-3)で固定します。



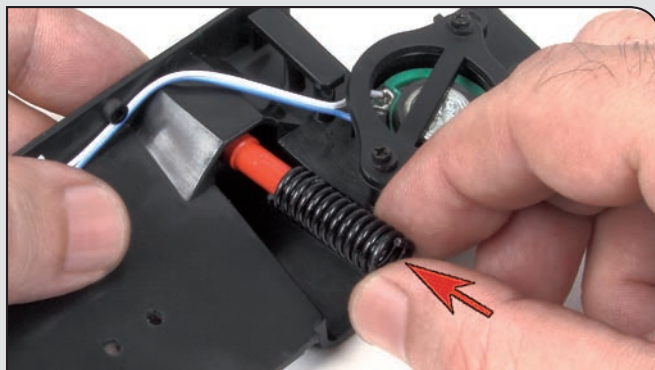
Step 78-E

フロント左ショックピストン(78-6)の端の穴をサスペンションアームの穴に合わせます。次に、ピストンピン(78-7)を穴に通します。



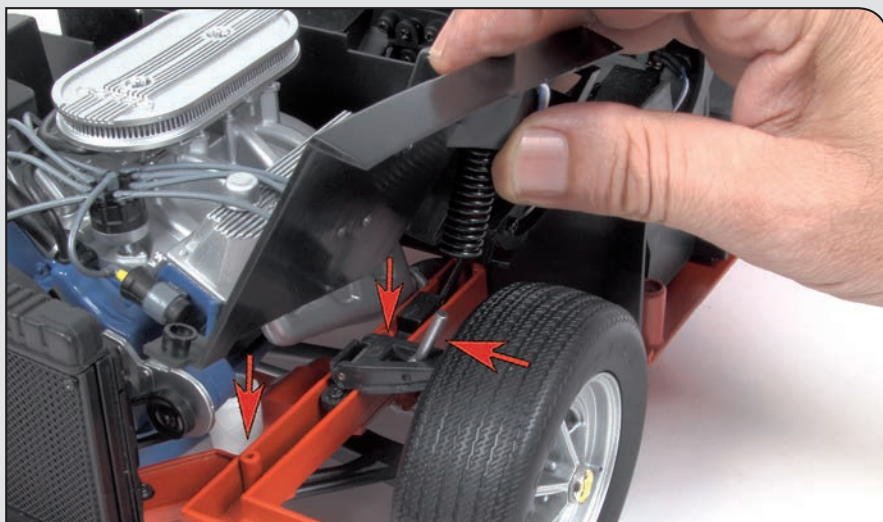
Step 78-F

ペンチを使ってピストンピンをアームに完全に差し込みます。



Step 78-G

ショックアブソーバースプリング(78-8)をショックボディに取り付けます。



Step 78-H

スプリングを所定の位置に保持しながら、フロント左側パネルをシャーシの上に下ろします。ショックピストンピンがショックボディに入ります。

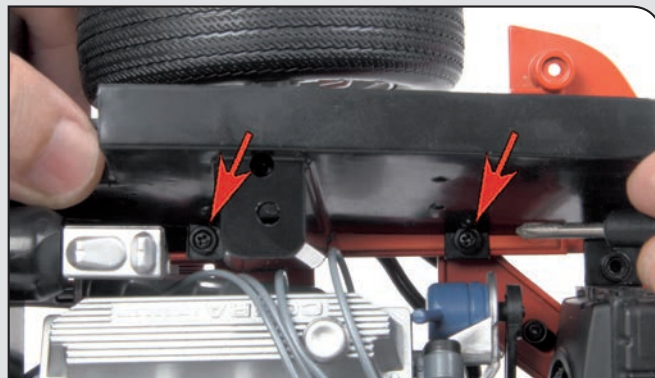
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。



Step 78-I

サイドパネルの背面にある穴を後部バルクヘッドの側面にある突起部に合わせます。



Step 78-J

2本のMD06ビス(78-9)でサイドパネルをシャーシに固定します。



Step 78-K

MP01のビス(78-3)を使用して、左側パネルの前面をラジエーターベースに固定します。



Step 78-L

2本のMP03ビス(78-10)を使用して、サイドパネルの後部を後部バルクヘッドに固定します。



Step 78-M

組み立て後は写真のようになります。

STAGE COMPLETE



パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



バッテリーとストラットブレースを作る

このステージのパーツ

- 79-1 バッテリー
- 79-2 バッテリーハンドル
- 79-3 ビス1.8×4mm(MP05)×2
- 79-4 ストラットブレース

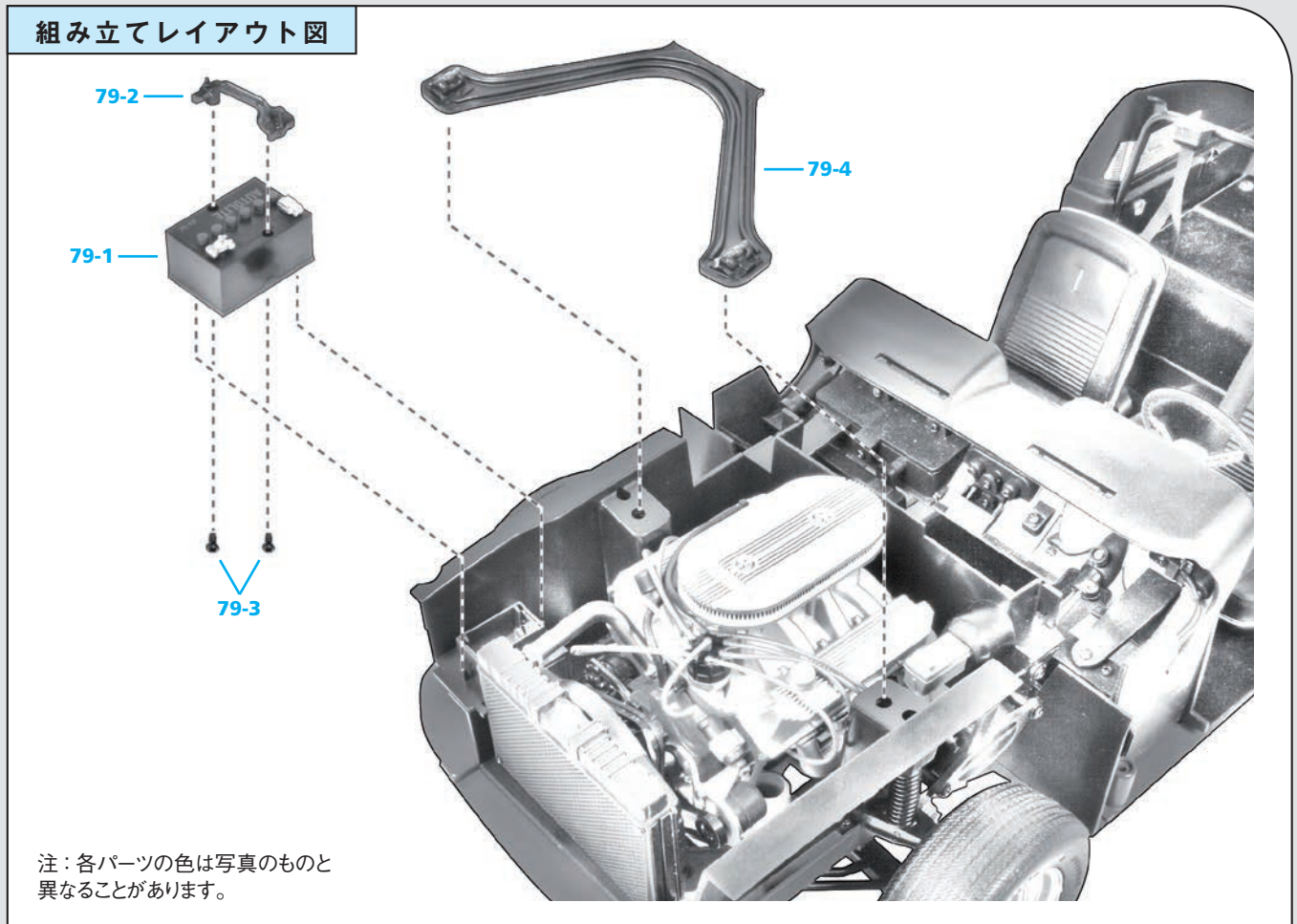
このステージのパーツ



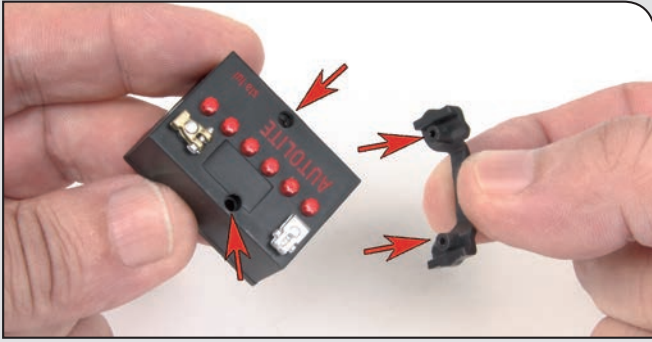
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

組み立てレイアウト図

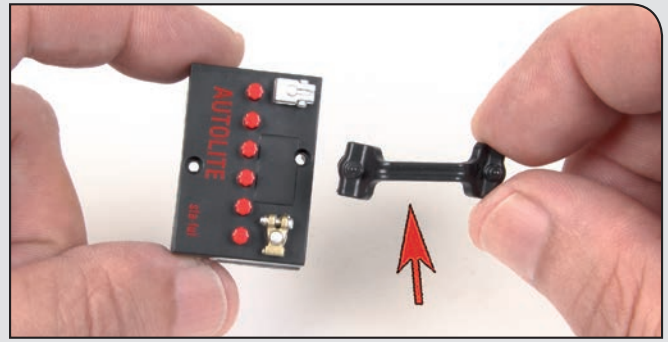


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 79-A

バッテリー上部の2つの穴(79-1)と、バッテリーハンドルの対応する突起部(79-2)を確認します。



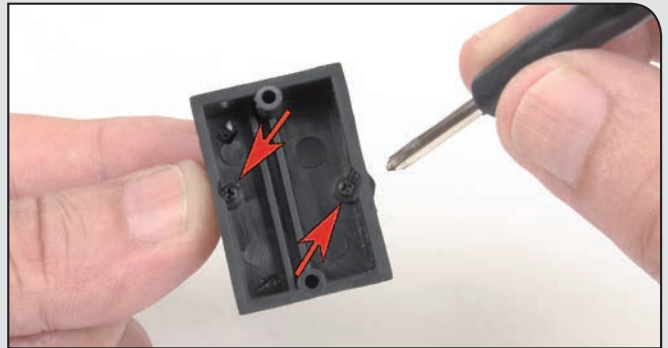
Step 79-B

写真のようにバッテリーとハンドルを持ちます。ハンドルカップの角度を正しく合わせるようにしてください。



Step 79-C

ハンドルの突起部をバッテリーの穴に押し込みます。



Step 79-D

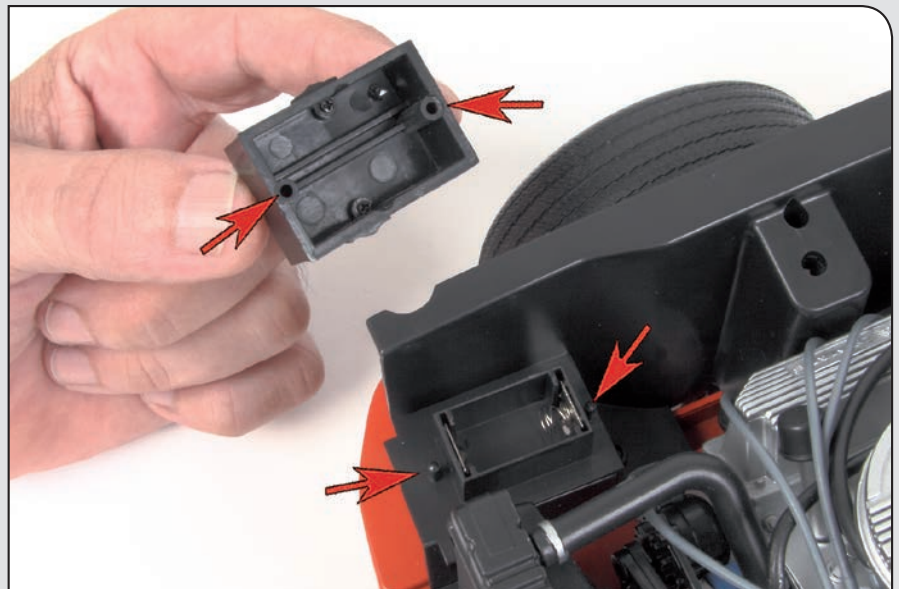
バッテリーを裏返して、2本のMP05ビス(79-3)でハンドルを固定します。

Step 79-E

バッテリーの両端にある穴とサイドパネルの対応する突起部を確認します。

パーツ取扱いの注意

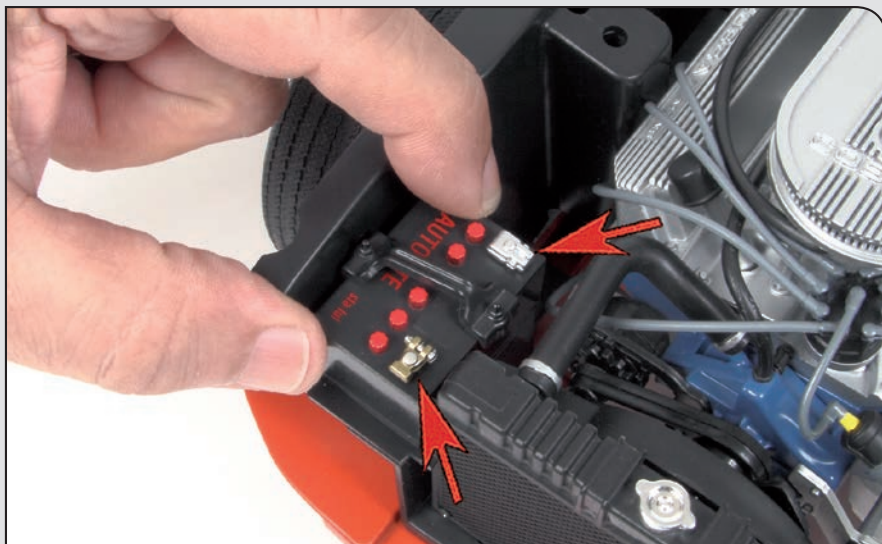
それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。





Step 79-F

写真のように、バッテリーを正しい向きにして、所定の位置に下ろします。



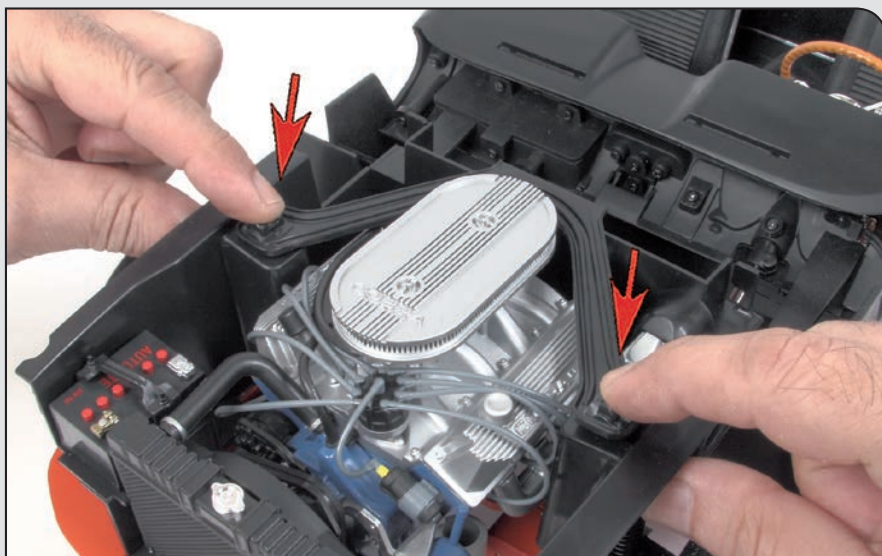
Step 79-G

ストラットブレース(79-4)の下側にある突起部をサイドパネルの穴(矢印)に合わせます。



Step 79-H

突起部を押し込みます。





Step 79-I

組み立て後は写真のようになります。



STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロタイプです。

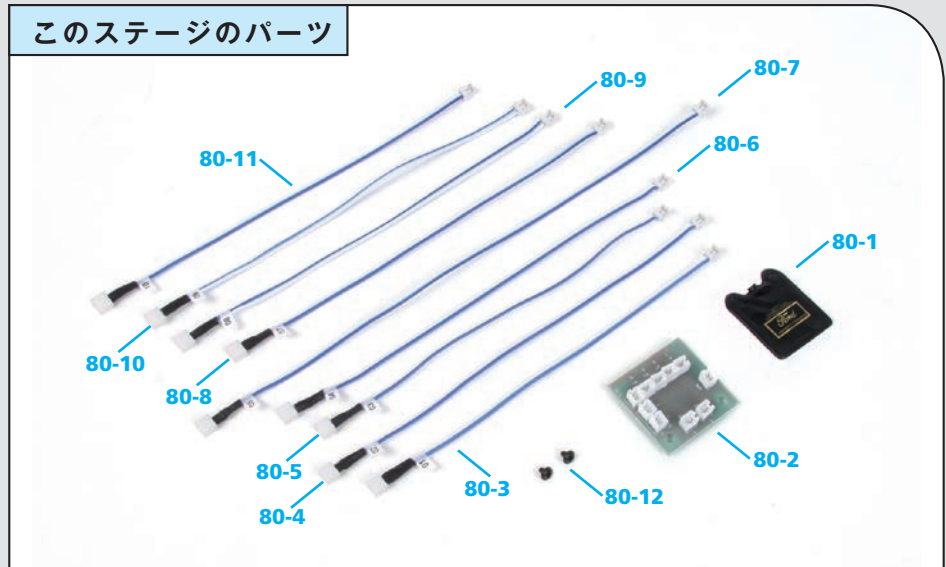


ウォッシャー液リザーバーと回路基板を作る

このステージのパーツ

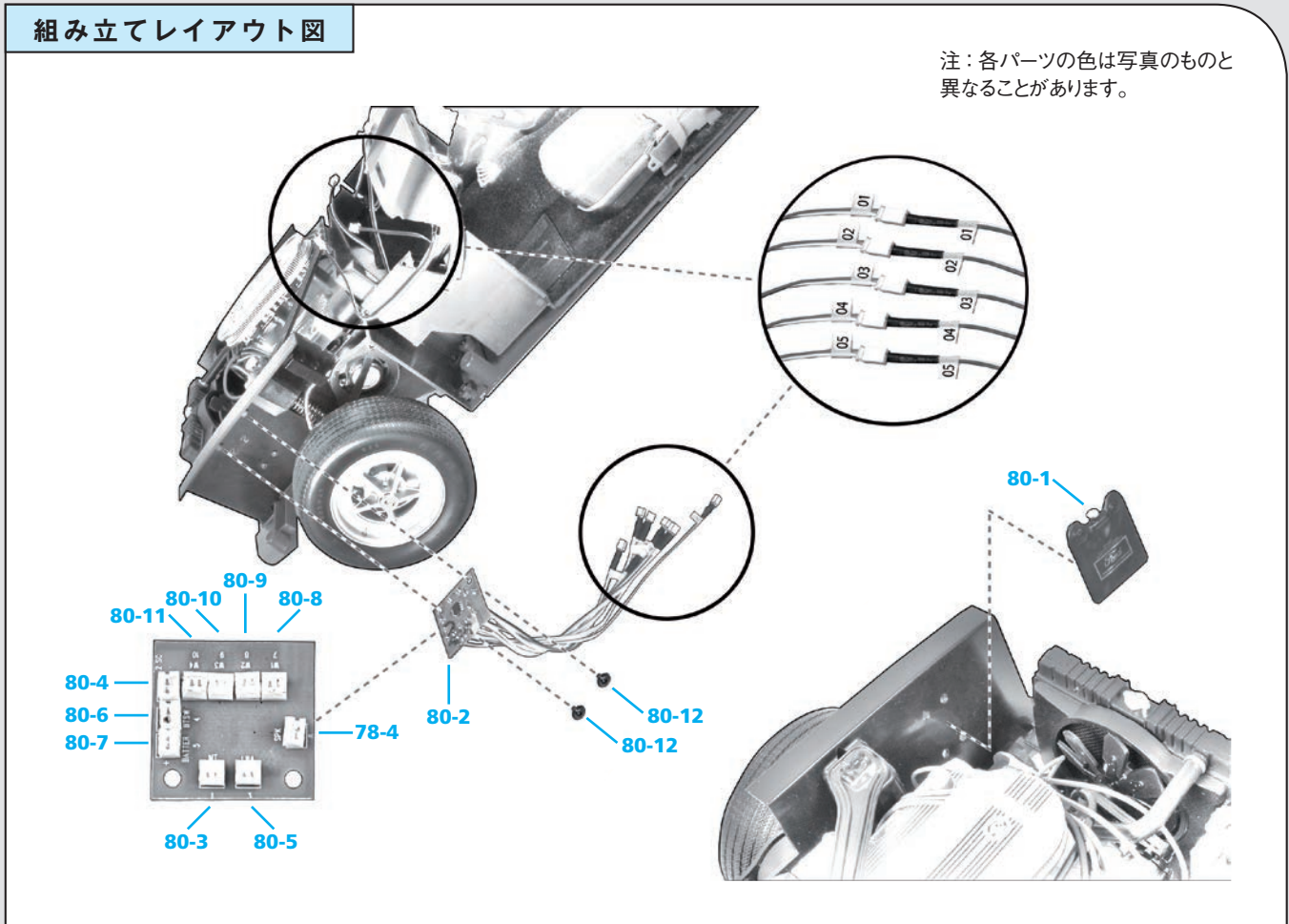
- 80-1 ウォッシャー液リザーバー
- 80-2 回路基板
- 80-3 ケーブル1
- 80-4 ケーブル2
- 80-5 ケーブル3
- 80-6 ケーブル4
- 80-7 ケーブル5
- 80-8 ケーブル7
- 80-9 ケーブル8
- 80-10 ケーブル9
- 80-11 ケーブル10
- 80-12 ビス1.8×3.5mm (MP08)×2

このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

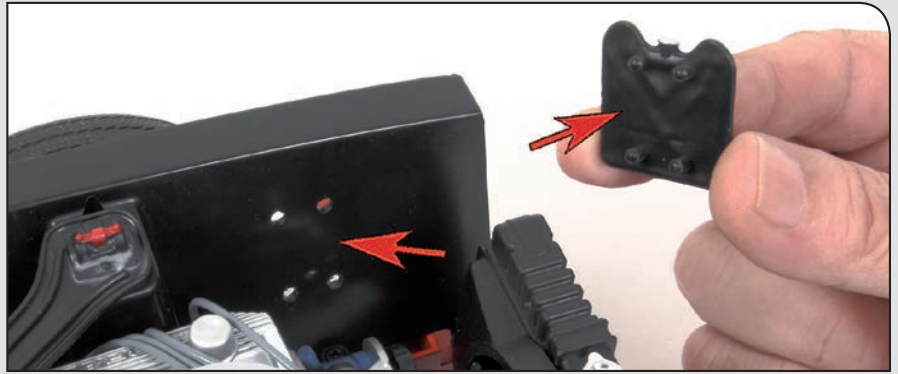
注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。





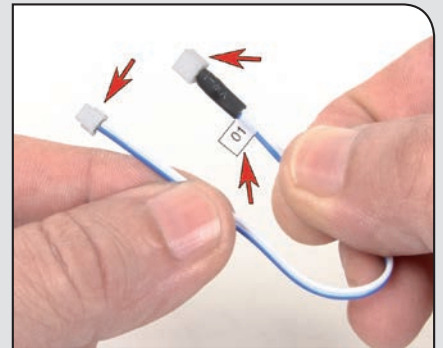
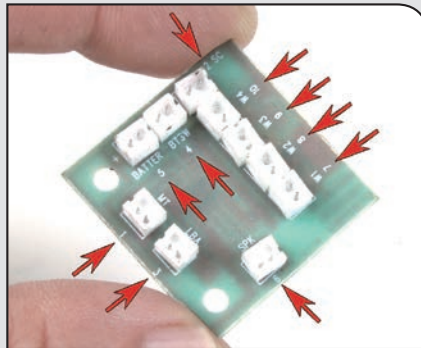
Step 80-A

写真のようにワッシャー液リザーバー(80-1)を持ち、その上の4本の突起部を前面左側パネルの4つの穴に合わせます。



Step 80-B

ワッシャー液リザーバーを所定の位置に押し込みます。



スペアパーツ

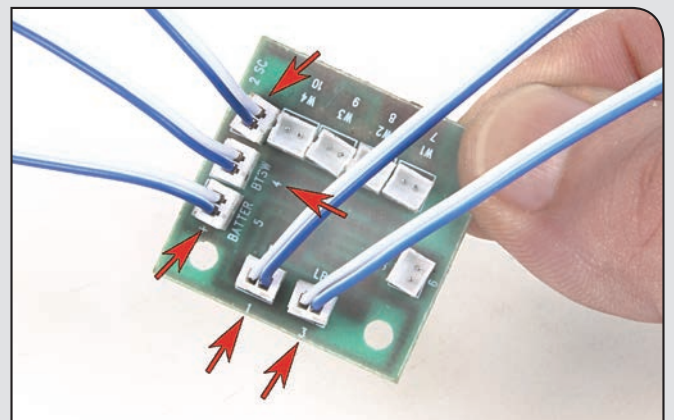
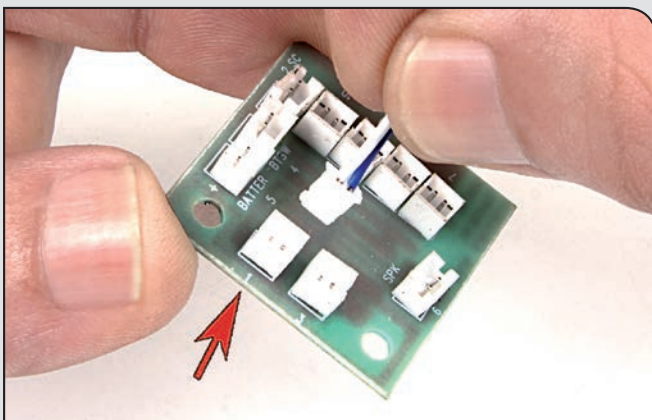
いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

Step 80-C

回路基板(80-2)を見てください。角にある2つの穴を確認してください。ボード上の番号が順番に並ぶわけではないことに注意してください(矢印)。

Step 80-D

ケーブル1(80-3)を取ります。それは2つの端部を持っていて、1つはコネクタ付き、もう1つはソケット付きで、黒いテープと識別番号が付いています。

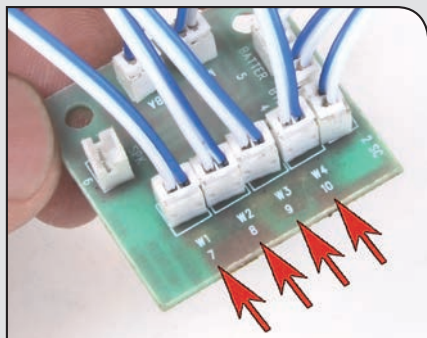


Step 80-E

ケーブル1のコネクタ(オス側)を、矢印の付いたサーキットボードの「1」のソケットに差し込みます。カチッと音がするまでコネクタを押し込みます。

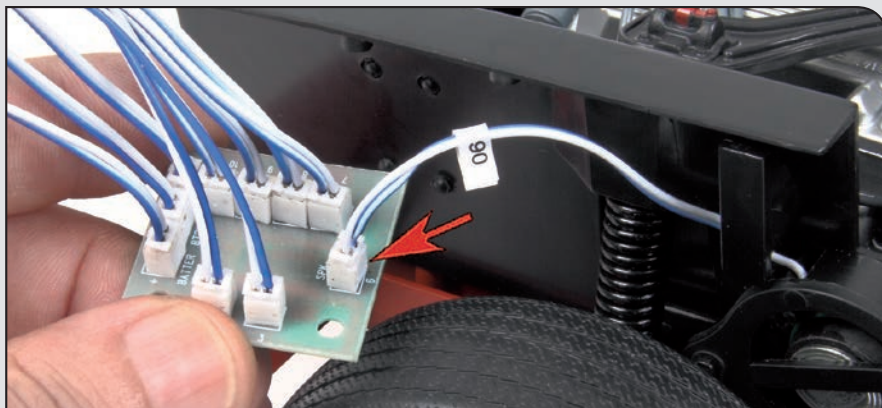
Step 80-F

次にケーブル2(80-4)、3(80-5)、4(80-6)、5(80-7)をそれぞれ対応するソケットに接続します(矢印)。



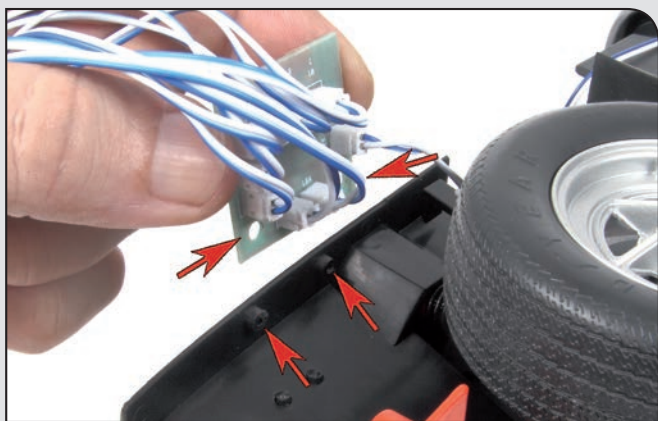
Step 80-G

同様にケーブル7(80-8)、8(80-9)、9(80-10)、10(80-11)をラベルの付いたソケットに接続します。



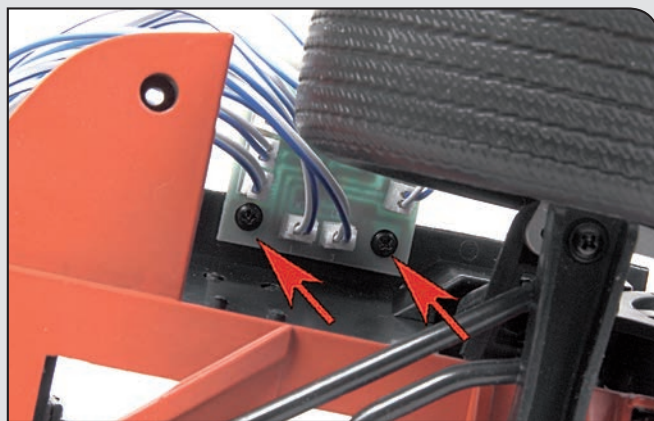
Step 80-H

次に、スピーカー(78-4)からのケーブル6コネクタを回路基板の残りのソケットに差し込みます。



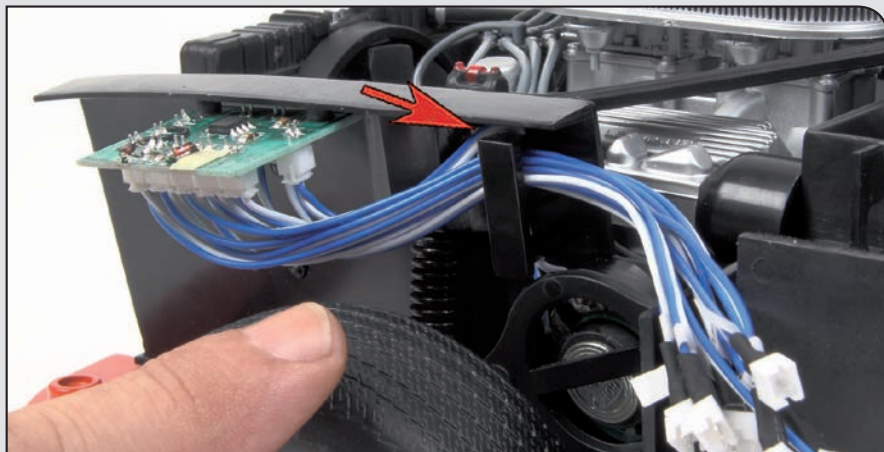
Step 80-I

回路基板の穴を前面左側パネルの上部の下側にある2本の突起部に合わせます。



Step 80-J

回路基板を2本のMP08ビス(80-12)で固定します。ビスを締めすぎないでください。



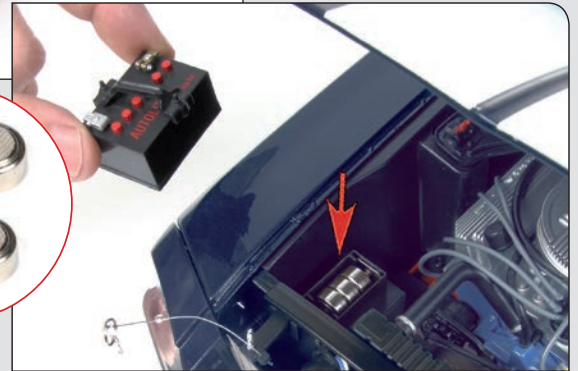
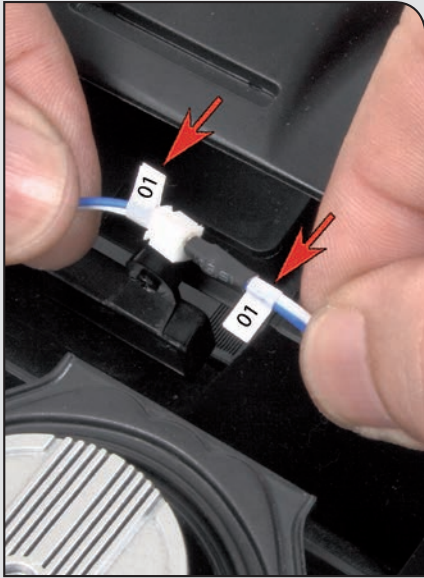
Step 80-K

図のように、ケーブルを1本ずつ左パネルの背面の開口部に通します。



Step 80-M

組み立て後は写真のようになります。



Step 80-L

電子回路からのケーブル1、2、3、4、および5のソケットを、すでにモデルに取り付けられているケーブルからの対応するコネクタに接続します。

【電装チェック①】

ボタン電池(LR44)を3個用意して、バッテリーケースに⊕⊖方向を確認して収納する。1. ホーンボタンを押すとクラクションが鳴ります。2. アクセルペダルを踏むとエンジン音が鳴ります。これらの2項目はメイン電源のスイッチがON/OFF(上下)に関わらず確認ができます。

STAGE COMPLETE

パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。





左フロントフェンダーの確認

このステージのパーツ

81-1左フロントフェンダー

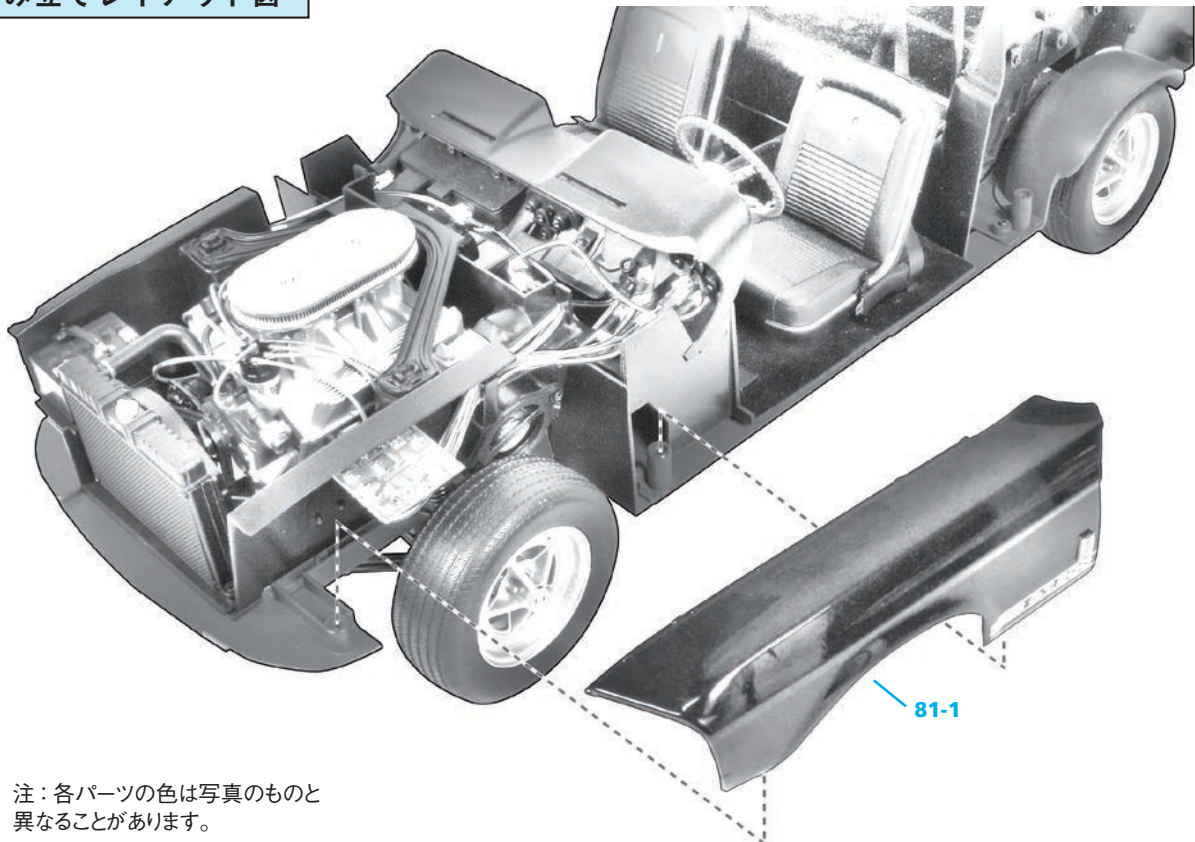
パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

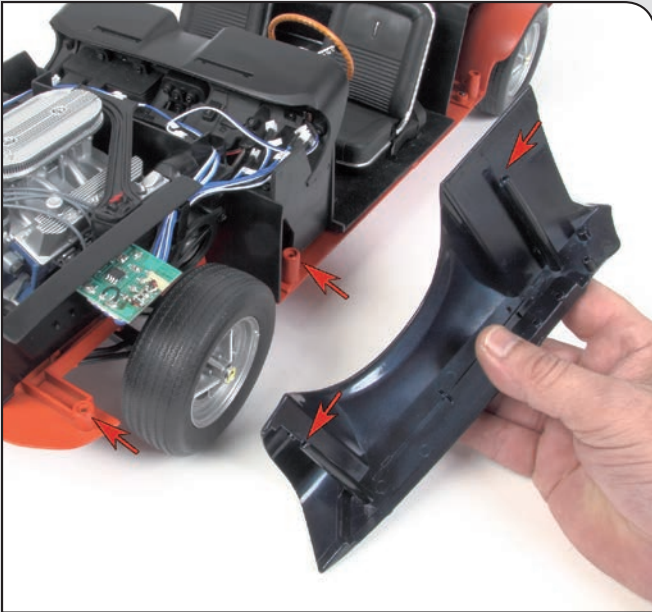
このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

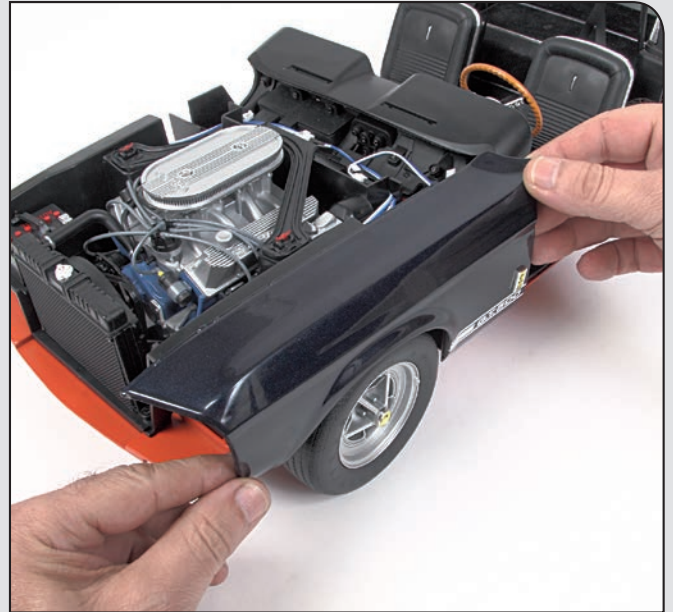


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 81-A

左フロントフェンダー(81-1)は現段階ではまだ組み立てません。フェンダーの背面にある2つの突起部は、シャーシの上にある2つの矢印の点とかみ合うことを確認してください。



Step 81-B

写真はフェンダーを置いてみたところです。

STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



これまでに組み立てたパーツ

この見開き写真は、あなたがこれまでに組み立てたFord Mustang Shelby GT-500のパーツ、および提供されたがまだ取り付けられていない部品を示しています。

Hood



Right door



Front of body





Spare wheel



Left door



Left front wing



シャーシフロントパネル部分と左フロントフェンダーを作る

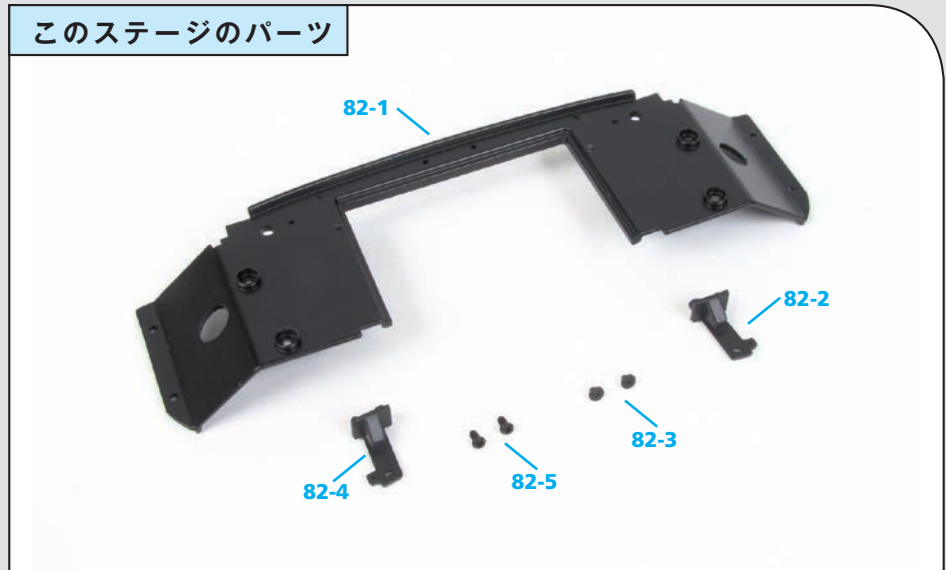
このステージのパーツ

- 82-1 シャーシフロントパネル
- 82-2 左フードブラケット
- 82-3 ビス1.8×3mm(MP09)×2
- 82-4 右フードブラケット
- 82-5 ビス2.3×4mm(MD06)×2

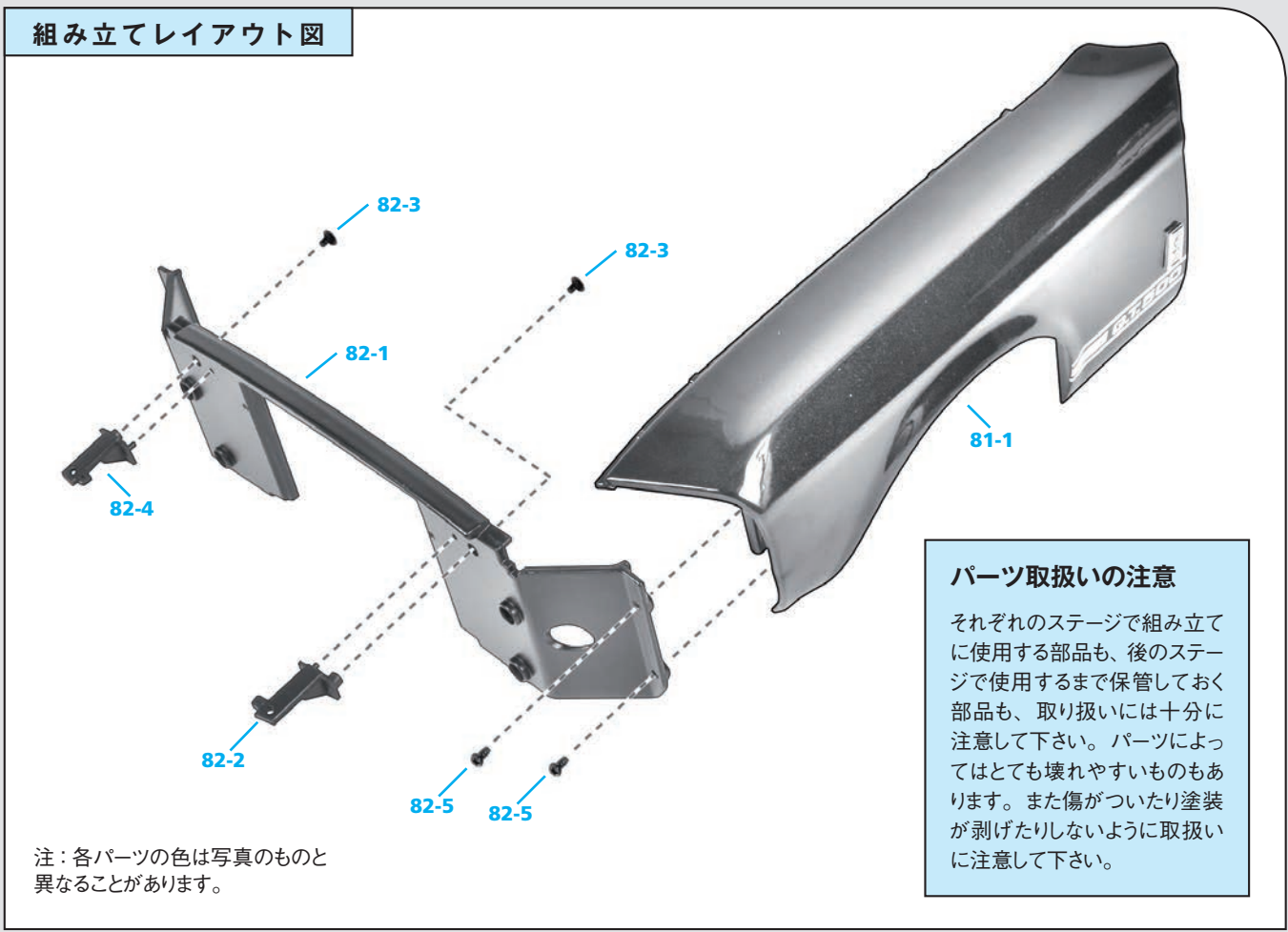
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

このステージのパーツ



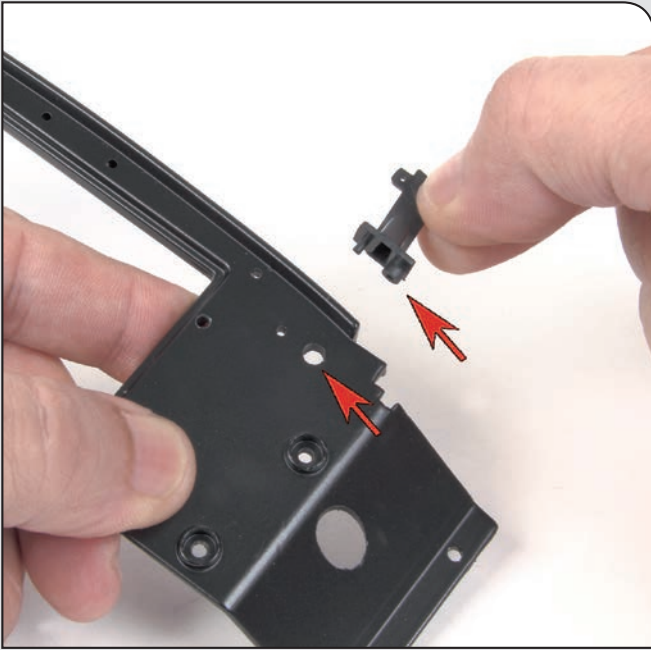
組み立てレイアウト図



パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



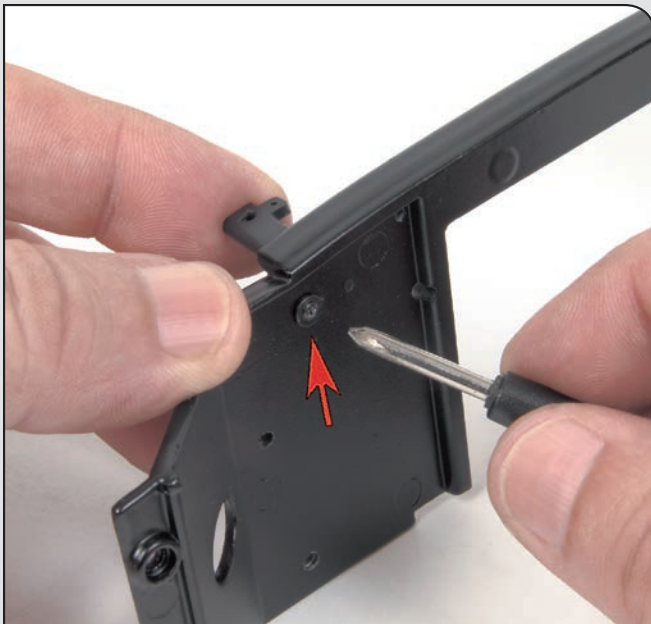
Step 82-A

左フードブラケット (82-2) の矢印で示された突起部を、シャーシフロントパネル (82-1) の対応する穴に合わせます。



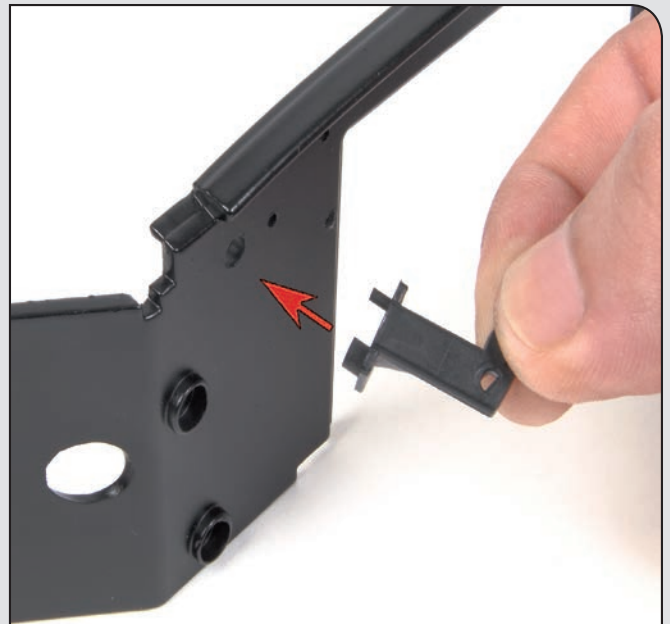
Step 82-B

フードブラケットを差し込みます。



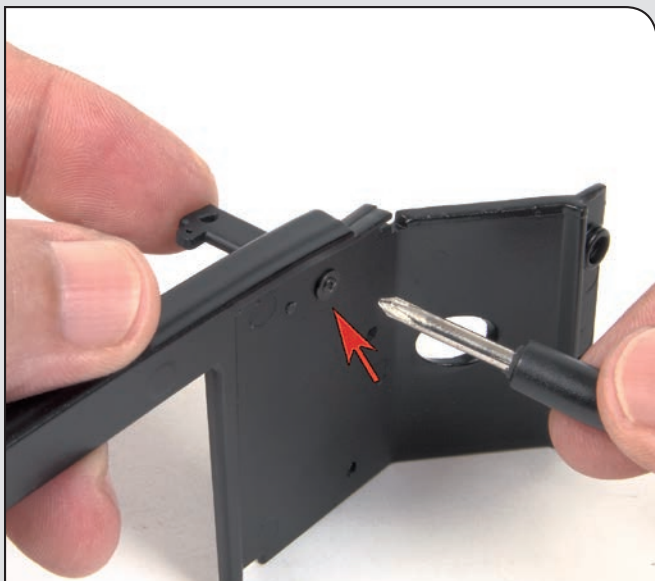
Step 82-C

パネルを裏返し、MP09のビス (82-3) で固定します。



Step 82-D

右フードブラケット (82-4) をシャーシフロントパネルのもう一方の端にある穴に差し込みます。



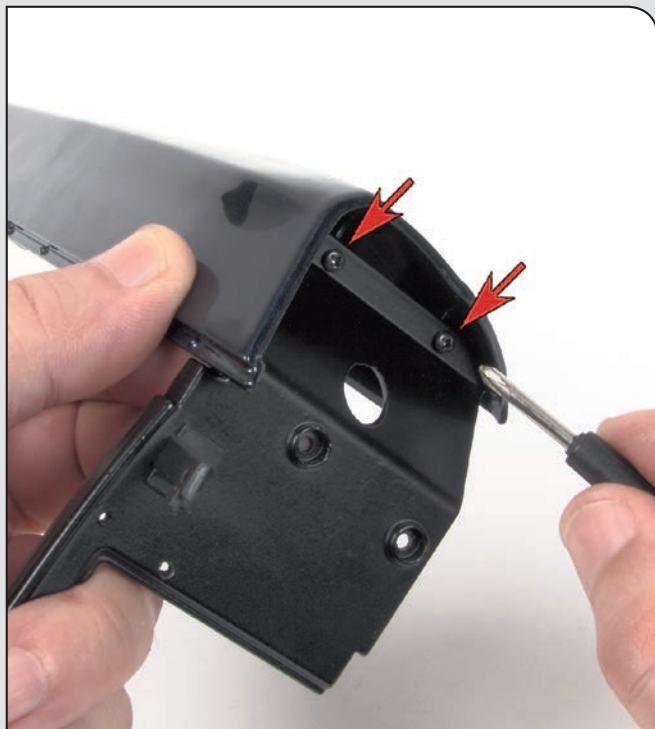
Step 82-E

同様に、ブラケットを所定の位置に保持しながら、2本目のMP09ビス(82-3)で固定します。



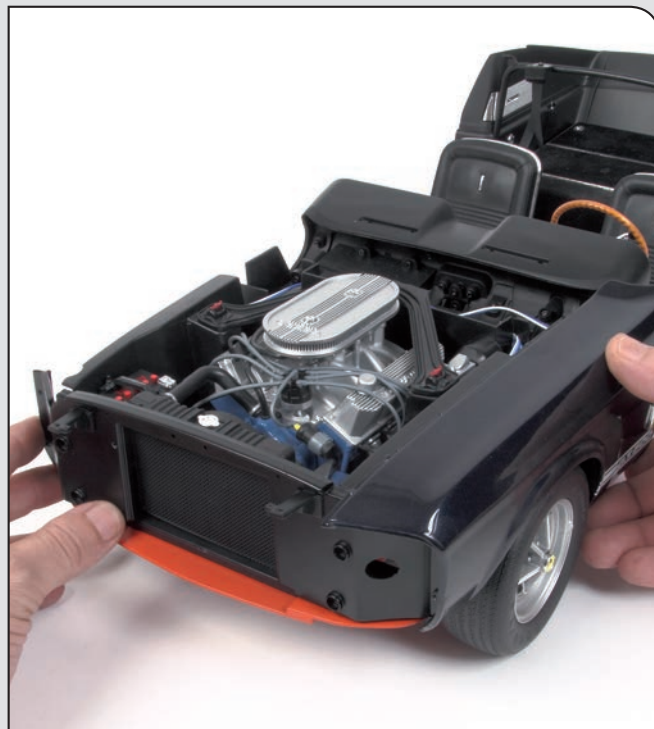
Step 82-F

左フロントフェンダー(81-1)を用意します。シャーシフロントパネルにある2つの穴をフェンダーの2本の突起部に合わせます。



Step 82-G

2つのパーツを2本のMD06ビス(82-5)で固定します。



Step 82-H

写真は組み立てたパーツが本体にどのようにフィットするかを示したものです。



Step 82-1

写真はこの号で組み立てた部分です。



STAGE COMPLETE



注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



右フロントフェンダーを作る

このステージのパーツ

83-1 右フェンダー

83-2 ビス2.3×4mm(MD06)×2

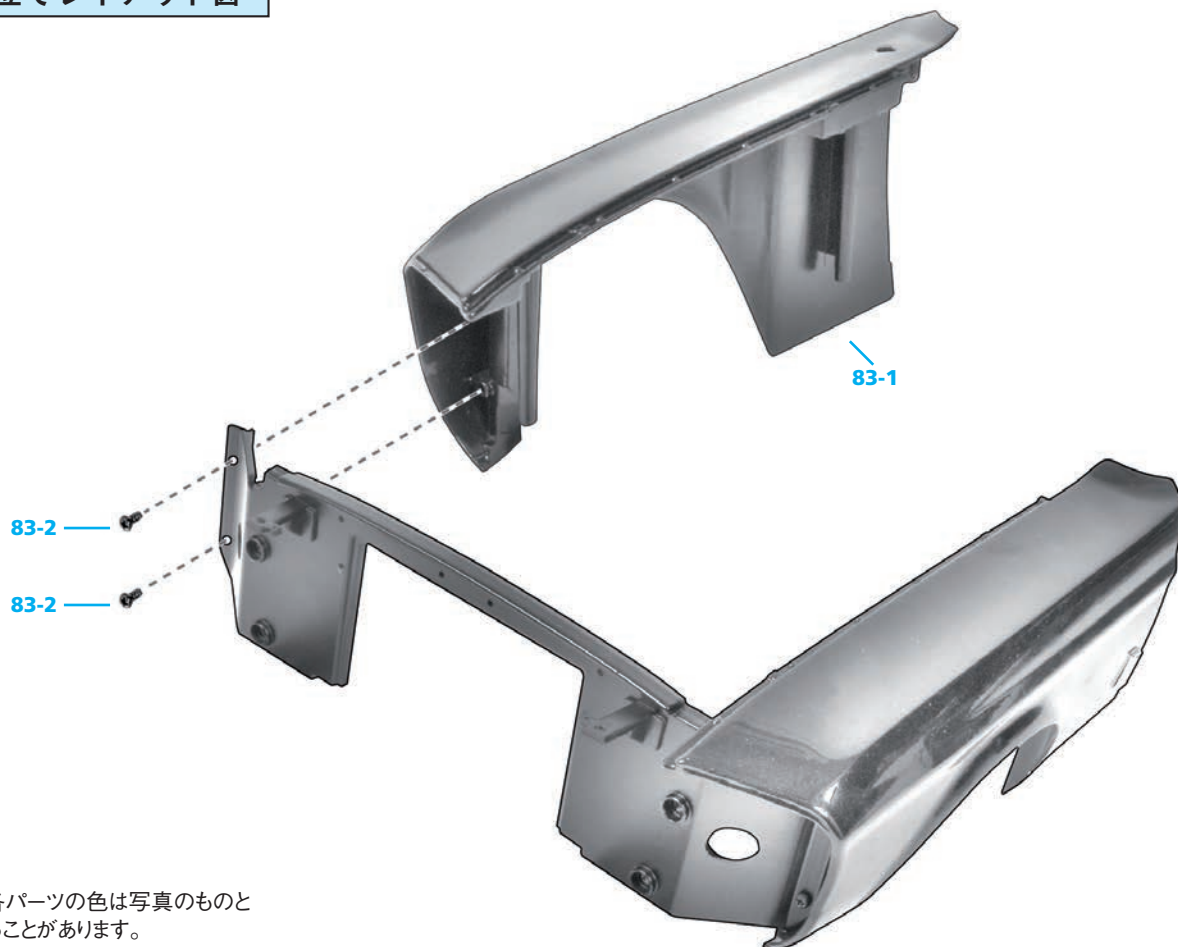
スペアパーツ

いくつかのビスなど、スペアパーツが提供される場合があります。それらは後で探しやすいようにパーツ記号を記したプラスチックバッグなどに入れて保管しておきましょう。

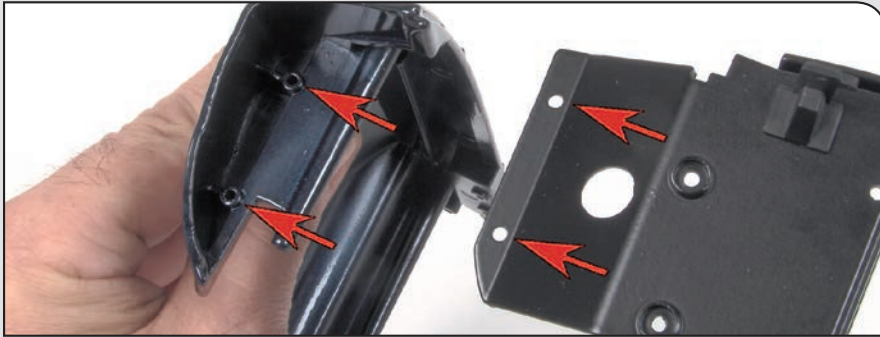
このステージのパーツ



組み立てレイアウト図

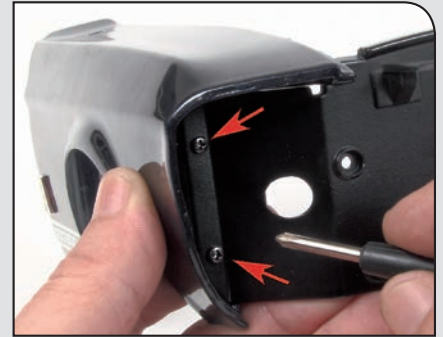


注：各パーツの色は写真のものと異なることがあります。



Step 83-A

右フェンダー(83-1)前面の矢印で示された突起部をシャーシフロントパネルの右側にある穴に合わせます。



Step 83-B

2本のMD06ビス(83-2)で部品を固定します。



Step 83-C

組み立てると写真のようになります。

パーツ取扱いの注意

それぞれのステージで組み立てに使用する部品も、後のステージで使用するまで保管しておく部品も、取り扱いには十分に注意して下さい。パーツによってはとても壊れやすいものもあります。また傷がついたり塗装が剥げたりしないように取扱いに注意して下さい。

STAGE COMPLETE



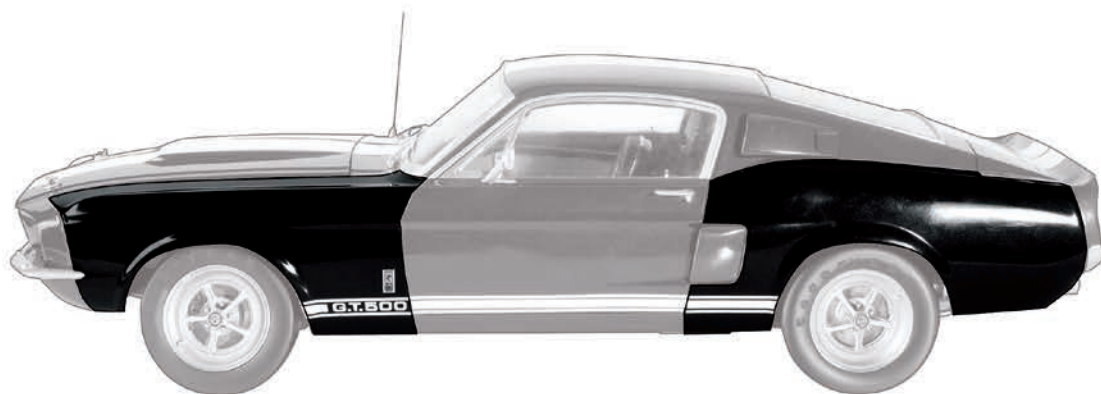
注:ここに示されているモデルはプロトタイプです。



Mustangのフェンダー

フェンダーは、前後左右の車輪を保護するように設計されています。同時にそれらはまた車体の審美的な形状を補完しています。この写真では、それらが収まる場所と、ボディラインにどのように影響するかを見ることができます。

Right front wing



Front and rear wings

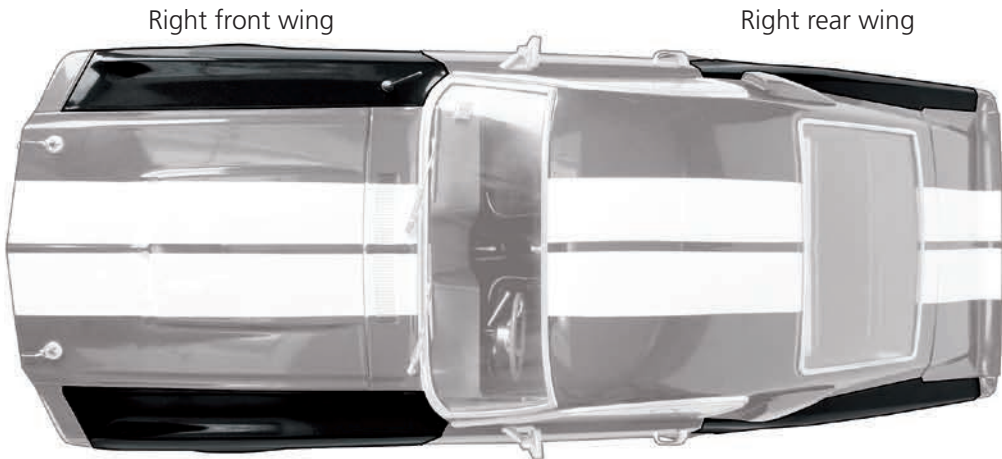


Left front wing

Left rear wing



Right rear wing



Right front wing

Right rear wing

Left front wing

Left rear wing